

關大

第566号

平成23年(2011年)11月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

平成23年度校友総会に800余人集う

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

第17回海外研修で台湾同窓と交歓

「感謝の気持ちを携えて」56人が台北を訪問

第1回大阪マラソン(10月30日)に協賛

通訳、給水などに多数のボランティア

関大防災Day2011に学生ら約1万人が参加

トップに聞く⑤ ロイヤルホテル
代表取締役社長 川崎 亨氏





「飛翔の庭」

関大一高・一中の正門から100周年記念会館へ迂回するS字のゆるやかな登り道を少し上がったところにあり、「阿波青石」と呼ばれる名石の大小約130トンを、自然の勾配を利用して巧みに配した枯山水の日本式庭園。

大学南門からの急坂に設置されたエスカレーター2基を結ぶ歩道部分の真下に当たり、上から垣間見することもできる。

森本靖一郎理事・相談役の寄贈により、平成22年3月に完成した。



関大 566号 目次

本部活動

2 平成23年度校友総会に800余人集う

河田恵昭社会安全学部長が記念講演

第17回海外研修「台湾同窓との交歓と台北の旅」

「感謝の気持ちを携えて」56人が台湾を訪問

留学生OB会、台北関大会と合同交歓会開く

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロデューサーの企業訪問—ものづくりの現場のいま—(2)

10 トップに聞く ロイヤルホテル 社長 川崎 亨氏

14 おめでとうございます—秋の叙勲・褒章受章者

15 日本学生支援機構(旧・日本育英会)の 奨学金を返還している方へ

大学・学生関係

16 第1回大阪マラソンに協賛、 通訳、給水などに多数のボランティア

「関大防災Day2011」に学生ら約1万人が参加

織田、GP中国杯で2位、高橋はGPカナダで3位

北陽高・陸上部男子が3年連続で都大路に出場

23 オース! ごきげんさん。(40) 世界を繋ぐ芸術の翼に—浦 大典(上)

24 北から南から<各地支部だより>

組織部から「地域活性化プロジェクト」の報告

～早くも2支部復活、1支部活性化へ～

42 新刊紹介 校友短信

44 会と催し 訃報

*紙面の都合で、「東日本大震災に関する関西大学の主な対応について」は、次号に掲載します。

広報部からのお知らせ

新年号の発行が1月15日付になります

機関紙「関大」の発行定日は、奇数月15日付で年6回発行しておりますが、これまで1月号(新年号)に限り、発行定日を臨時変更して1月1日付とし、年内に発行してきました。

広報部で検討の結果、11月号との発行間隔が短い、年末・年初の情報を掲載できないなどから、平成24年新年号より、1月15日付で発行することになりました。

ご了承くださいませとともに、今後とも愛読くださいますようお願いいたします。

草の甲

本年5月、吉田栄司法学部長は、理事・監事・評議員各位に「関西法律学校の創立とその精神」(関西大学法学部百年史編集委員会編・昭和61年11月刊行)と題する一書を配布せられた。創立百周年記念として、当時の法学部教授陣が執筆された論文集で507ページに上る力作揃いです。この書が年を経て、法学部資料室の片隅に250冊も眠っているのを発見され、この書がいづれ埋もれて消えてゆくことは忍び難く、現法学部の先生方、関大経営・運営に携わる関係者に、今一度、創立者の建学の志を呼び醒ましてくれる契機になると思われ、配布されたものと推察します。▼表題の「関西法律学校の創立とその精神」は同書所収の故石尾芳久教授(日本法制史)の論文名に由来しています。石尾先生には50年前、法律相談所が千里山法律学会より独立した当時、毎週、旧尚志館内の部屋にお運び頂き、ラッドブルフの「法哲学」、「自然法と実定法」の輪読会をして頂いたことを思い出します。▼学生にとっては分に過ぎた時間でした。ナチスの「断種法」を議論したことも懐かしい断章となっています。当時、若手の講師だった沢井裕・福永有利・曾野和明、若手弁護士だった上原理事長といった先生方から定期的に民事の勉強会を指導して頂いていました。古き良き時代だったのでしょか。▼先日の校友総会で、寺内俊太郎会長は法科大学院の状況について、校友会長としては異例ともいえる教学の先生方に、「法科の関大」覚醒に向けて叱咤ともいえる懇願をされました。会場内から賛同の拍手も起りました。▼わが法科大学院も、この低漫然と推移することは許されない状況であることは学内外、誰しも認めるところです。今こそ、明治19年の建学の精神に学ぶ時と思います。

平成23年度校友総会 BIGホール100に800余人が集う

平成23年度校友総会は、10月16日（日）12時半時から千里山キャンパス・第2学舎の「BIGホール100」で開催され、2日続きの雨も吹き飛び爽やかな秋晴れのもと、京阪神はもとより全国各地から800余人の校友が出席した。さらに9月の海外研修で訪問した台湾からも「校友総会に出席します」との約束どおり留学生OB会のメンバーが駆けつけた。

第1部総会では、寺内俊太郎会長が挨拶のあと、1年間の会務を報告、恒例の感謝状贈呈が行われた。第2部記念講演では、社会安全学部長の河田恵昭教授の「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」と題する講演を熱心に拝聴。その後、凜風館に会場を移して行われた懇親会では、参加者が一堂に会して歓談。応援団の演舞を楽しみ、すがすがしい秋の一日を母校で満喫した。

万世特攻平和祈念館の 苗村七郎名誉館長を特別表彰

第1部総会は、昨年より30分早い12時半に大東恭治・仁井ひろみ両総務副部長の司会で開会。田中義昭副会長が開会の言葉を述べ、富田龍郎応援団第89代団長のリードで学歌を斉唱。昨年の総会以降亡くなられた校友・大学関係者と東日本大震災で犠牲になられた方々の冥福を祈って黙祷を捧げた。

来賓と台湾留学生OB会の参加者を紹介のあと、挨拶に立った寺内会長は、3月11日に起きた東日本大震災に対する校友、大学の取り組みから話をはじめ、校友の「総力結集・創意工夫・熟慮実行」のスローガンのもと、この1年間取り組んできた校友会活動および大学の主要な出来事、教育の現状、学生の活躍などをパワーポイントを使って詳しく紹介。最後に、関西大学125年の歴史を重く感じて、法科大学院の司法試験合格者を増やしてほしい。これはわれわれ校友の強い願望であり、母校への期待でもある。そのため、われわれ校友は物心両面にわたって協力・援助することを惜しまない」と述べると、会場からは大きな拍手が沸き起こった。

来賓挨拶では、上原洋允理事長は、「先ほど校友会会長から誇りに思うと言っていたいただいた社会安全学部をはじめ、2010プロジェクトが完成して社会的に高い評価を受けている。関西大学の入学試験志願者数は全国

で5番目、新しい人間健康学部と社会安全学部を受験生の関心が高く、実質競争率でも5倍を超えて牽引車の役割を果たしている。リクルート社の調査で、高校3年生の大学志願度は西日本では連続してトップである。

また、学術・文化・スポーツ面でも関西大学は高い評価を受けている。教員、職員が一致団結して、大きな目標に向かって努力いただいている成果だと思う。一部体育関係の部で不祥事が報道され申し訳なく思う。が、多くの部では体育OB会のおみなさんにも監督・コーチとして大変お世話になり、愛情を持った指導をいただいている。スポーツ・文化活動は、人間形成に欠かせない要素を持っており、今後モ学術・文化・スポーツのバランスのとれた発展を期していく。会長からご指摘の法科大学院



特別表彰を受ける苗村氏（中央）

校友総会での顕彰者（順不同・敬称略）

特別表彰（1氏）

苗村 七郎（万世特攻平和祈念館名誉館長＝昭18大経）

組織特別顕彰（2団体）

北海道支部 南勢支部

組織顕彰（1団体）

摂津支部

個人功労表彰（22氏）

豪（東予千里会相談役＝昭42学経）
白崎 雅則（備後支部代表幹事＝昭44学経）
鈴木 一雄（明石関大クラブ会長＝昭31学文）
木下 利成（西宮支部前幹事＝昭37学商）
福武 信子（伊丹支部支部長＝昭48学文）
南 弘和（泉南支部支部長＝昭40学商）
深井 龜治（泉大津支部幹事＝昭41学文）
中井 忠三（和泉支部副支部長＝昭40学法）
花崎 光輝（大阪狭山支部幹事＝昭37学法）
山本武一郎（河内長野支部参与＝昭28学経）
野島 努（富田林支部副支部長＝昭28学経）
尾松 啓祐（藤井寺支部副支部長＝昭61学経）
岸野 辰磨（枚方支部副支部長＝昭37学法）
福田 博行（茨木支部副支部長＝昭46学法）
奥谷 英夫（吹田支部支部長＝昭41学経）
田中 義信（平野支部支部長＝昭50学法）
町野 重昇（此花支部副支部長＝昭30学法）
竹本 泰廣（城東支部会計＝昭63学文）
高野 武文（鶴見支部副支部長＝昭34学法）
山門 章一（淀川支部副支部長＝昭55学商）
陸田 博（社会保険労務士関大会前会長＝昭25専国）
弘行（スポーツマンクラブ副会長＝昭45学文）

についても、真摯に受け止めて対策を講じていきたい。

関西大学は、大阪で生まれ大阪で育った大学として、教育・研究・就職の3点でより高い評価を受けるよう、辛抱強く、着実に一步一步前進していくことが大切だと思っている。厳しい反面、温かい気持ちを持ってこそ支援をお願いしたい」と述べた。

また、楠見晴重学長は、「関西大学の今日の隆盛は、40万校友のこれまでの社会での活躍と母校への支援の賜物と感謝申し上げる。

今年には日本にとって特別な年である。3月11日に東日本大震災が発生、それに続く福島第一原発の事故は、これまで多くの

困難を乗り越えつつ成長してきた日本に、大きな衝撃をもたらしている。土木工学を専門とする私も、地震・津波の被害を目の当たりにし、無力であったことに愕然とした。しかし、自然現象を解明し、一人でも多くの人を救えるのは科学的知識、科学技術であり、関大の役割はますます大きくなっている。

震災がなくても、いま日本も関大も大きな曲がり角に立っている。グローバル化、少子化、関西経済の低下などの中で、20年30年後も魅力ある学園であり続けるためにどうあるべきか、しっかりと方針を立て、校友もそれを共通認識として共有してもらった必要がある。

北嶋弘一総務部長が、パワーポイントを使って、1年間の会務を報告した後、昨春秋と今年春に叙勲・褒章を受章された校友・大学関係者が舞台上上がり、代表して瑞宝中綬章を受章の川北文雄元香川県副知事に寺内会長

から記念品が贈られ、参加者も大きな拍手で祝意を表した。

恒例の感謝状贈呈に移り、特攻隊員の至純の心を後世に伝えようと万世特攻平和祈念館建設や慰霊碑建設に私財を投じて活動を続けてきた苗村七郎万世特攻平和祈念館名誉館長を特別表彰。次いで組織顕彰を受けた後、30年以上にわたって総会を開催している北海道支部と南勢支部を組織特別顕彰した。続いて、10年継続して総会を開催している摂津支部を組織顕彰、幹部役員として12年以上にわたって組織の発展に尽力されている個人功労表彰では、22人を代表して富田林支部副支部長の野島努氏に寺内会長から感謝状と記念品を贈った。

河田恵昭教授の記念講演に

メモとり熱心に聞き入る

第2部記念講演では、石井國男副会長の講師紹介のあと、社会安全学部長の河田恵昭教授が、「東日本大震災の教訓をつぎの南海地震に生かす」と題して講演。

釜石市の漁港に押し寄せた津波の映像紹介から講演に入った河田教授は、パワーポイントを使って、先ず今回の未曾有の震災津波の原因を説明。その後、東日本大震災の9つの特徴（巨大自然災害）スーパー広域災

害」市町村再編災害、専門家不在災害、物流災害）を、過去に起こった津波との比較、阪神淡路大震災との違いなどを資料に、詳しく説明した。

次いで、東日本大震災復興構想会議委員として関与している政府の復興計画策定の指針や現況を解説し、「災害は起こることを前提に、被害を最小限に抑える」、「被害の教訓を他地域や次世代に伝える」、「中小規模の災害の教訓を学ぶ」、「将来を予測して備える」などの減災戦略の重要性を訴えた。

さらに、南海地震と東南海地震が起きた場合のシミュレーションを示し、「関西空港は2mの浸水」、「キタとミナミの地下街などは水没」といった被害状況の予測を紹介。個人としては、「津波に対しては逃げる」との大切さを強調した。

最後に、社会安全学部の設立から、現況、世界のハーバード大学を目指す将来構想を話して講演を締めくくると、メモを手熱心に聞き入っていた会場からは大きな拍手が起こった。

凧風館で懇親会開催、台湾留学生OBも交歓

古川好男副会長の閉会挨拶で第2部記念講演会は終了。第3部懇親会は、総合学生会館メディアパーク・凧風館2階のバ



校友総会トピックス!

考動する香川人

―叙勲者代表の―

川北文雄さん

瑞宝中綬章受章の川北文雄さん(昭40学法)。現香川支部長、元香川県副知事、元香川県庁千里会会長。県政に40年携わってきた。座右の銘は「一所懸命」。人生の師、司馬遼太郎の「私には、幸い、この世にすばらしい友人がいる」という言葉通り、つねに周囲



イニングホールディノア(生協食堂)に会場を移して開催された。大谷啓二副会長の開宴の言葉、山脇雅則教育後援会会長の乾杯の発声で懇親の輪が広がった。舞台では、台湾留学生OB会のメンバー紹介が紹介され、それぞれが30数年ぶりの母

校訪問の感想を語り、理事長・学長・校友会長と記念撮影。参加者と一緒に応援団の演舞などを楽しんだ。

全員肩を組んで道遙歌合唱の後、小寺一矢副会長の開宴の挨拶で校友総会の幕を閉じた。

に感謝の気持ちを忘れない。学生時代は17種類のアルバイトをしながら苦学した。

夢は映画人になることだったという。実際、映画「UDON」に、現職時代に副知事役で出演した。映画への思いが捨てきれず、現在もNPO法人さめぎ映画倶楽部の理事を務め、また007映画の香川県への撮影誘致を目指している。

好きなものは阪神タイガース。年4回は甲子園通いをするほどのファン。いまは四国四県で「四国八十八カ所霊場と遍路道」の世界遺産登録を実現しようと取り組んでいるところだ。「元氣な香川支部、考動力あふれる関大」を目指す。企画力と夢と情熱あふれる行動の人である。まさに「THINK "x" ACT」、香川にすばらしい関大人あり。

(広報部 山本淑子)

総会以外にも

イベントを開催

―三重県南勢支部

時田支部長に代わり感謝状を受け取った黒田蔵元さん(昭34学商)。

組織特別顕彰に選ばれたことを、大変嬉しく思っています。

南勢支部は、松阪から南の地域を支部の活動範囲としており、現在、会員数は約70人です。

支部は、昭和56年から活動していますが、途中で、活動休止など、支部存続の危機もありましたが、鎌倉守、時田耕路両支部長の頑張りなどで再開し、今日に至っています。

支部のメンバーの高齢化が進んでいきますので、若い人に支部活動に積極的に参加してもらえように、鮎のつかみ取り、ハイキング、焼肉パーティーなどのイベントを開催し、また、支部総会では、吹奏楽、フラダンスなどの催し



をしています。女性にも、支部活動に参加してもらつよう呼びかけています。

校友の皆さんの中で、支部活性化で、良い知恵がありましたら、教えてもらえたらと思います。本日は、ありがとうございます。

(広報部 三原秀章)

多くの校友集う支部に

―摂津支部

組織顕彰を受けた支部長の板野剛士(昭39学法)さん。

あつという間の10年間で、ここまで続いた秘訣は幹事長をはじめとした若手の方々がしつかりと年間計画を立て、支部事業運営をしてくださったからだと思います。また、5年程前から「憬星(けいせい)」という新聞を年2回発行しています。

役員は15人程度で、支部総会の時には各自が多くの校友に呼びかけ、総会を盛り上げるよう奮闘努力中です。



今まで一番嬉しかったのは高槻キャンパス見学会に参加できたことです。母校の発展を目の当たりにし、懇親会では大いに盛り上がり、その場に身を置けたことを皆で喜び合いました。

支部は親睦団体なので、みなで一緒に盛り上げられたらと思います。毎年バーベキュー大会やボウリング大会を催し、特にバーベキュー大会は校友の子供達も参加し賑やかなものです。

これからも多くの校友が集える支部にしたいですね。でも女性が少なくて。ところが今年の支部総会には1人来て下さり、嬉しい限りです。来年はもっと多くの女性校友に参加していただき、喜びを2倍3倍にできれば。ご夫婦の校友も是非総会に参加いただければと思います。

(広報部 岡田美由紀)

休眠支部の

再建にご活躍

―個人功労代表の―

野島 努さん

個人功労表彰を受賞された富田林支部副支部長の野島努さん(昭23予科入学・28学経)。

長年休眠状態だった富田林



支部をなんとか再生させようと、経済学部同級生の奥様の内助の功を得て、なんとか集めた関大OB名簿に基づいて一斉に葉書で問い合わせをし、返事のあった約70人を会員として活動を始めました。再建に向けて支部旗や日章旗の準備からのスタートだったとのこと。

富田林支部は、富田林市だ

台湾留学生OB会の人たちと

校友総会で楽しい時間を共有

2日続きの雨もあがり、今日はカラッと晴れ上がり、爽やかな校友総会となった。

9月の台湾研修旅行での合同交歓会において、李銘坤会長（昭56学商）の、10月16日の校友総会には必ず関大に行きますよとの言葉どおり、9人の方が台湾から来られた。

総会および懇親会で、寺内会長から台湾留学生OB会のみなさんの紹介があり、上原理事長、楠見学長、寺内校友会長と揃って記念撮影、私たち校友は、心からの大きな拍

けでなく太子町、河南町、千早赤阪村まで含む、支部としては他にはない広いエリアに及んでおり、会費の徴収にも大変苦労されました。

今は、年に1回の市民会館での総会と、年2回のゴルフコンペや年2回家族連れで南河内周辺の古墳等を巡る歴史散歩といったイベントを開催されています。会員には平成卒業の会員も参加されているとのこと。

休眠支部のお手本となる事例です。これからもより一層支部活動にご活躍されることを期待しています。

（広報部 堤 勇二）

手で迎えた。

その後、学内を見学されたあと、日本在住の台湾OBの方も参加され、総勢45人で大学近くのお店で歓迎会。

李会長や許正宗さん（昭55学経）も、30年ぶりです。駅前の店も、関大も大きく変わっていました。私たち留学生はよくボウリングをしましたよと懐かしそ。

また、神戸在住の貿易商の曾瑞祺さん（昭55学工機）は「大学が綺麗になってびっくりしました」。曾さんのお父さん



は台湾で医者をし、日本の無医村で医者をしていたこともあるそ。

黄南元さん（昭57学商）も顔政雄さん（昭55学経）も、みなさんが口を揃えて言われたのは、当時、商学部事務室の職員だった稲置啓一さんにお世話になったこと。そのころは留学生が少なくって寂しかったが、稲置さんが校友を繋いでくれた。とても大切な人です。今でもOB会メンバーに慕われている。

そして、会の終わりに言われた、関大のための仕事なら何でもしますとのメッセージが嬉しく心に残った。

台湾留学生OB会のみならず、母校で楽しい時間を共有できたことに感謝しています。ありがとうございました。

（広報部長 三木 允子）



一般入試・センター利用入試の願書を校友の皆様に無料でお届けします!

2012年度 一 般 入 試				
日程	試験日	学 部	試験地	
学部 個別 日程	2/1 (水)	文・システム理工・環境都市工・ 化学生命工学部	① ②	① ② ③
	2/2 (木)	商・政策創造・ 人間健康・総合情報・社会安全学部		
	2/3 (金)	法・経済・政策創造・外国語・総合情報学部		
	2/4 (土)	法・文・商・社会・人間健康学部		
	2/5 (日)	システム理工・環境都市工・ 化学生命工学部		
	2/6 (月)	文・経済・社会・外国語・社会安全学部		
後期 日程	3/3 (土)	法・文・経済・商・社会・ 政策創造・外国語・人間健康・ 総合情報・社会安全学部	①	
	3/4 (日)	総合情報・社会安全・システム理工・ 環境都市工・化学生命工学部		

- 出願期間 ●学部個別日程 郵送・インターネット 2011年12/26 (月)～2012年1/13 (金)
 ●全学部日程 郵送・インターネット 2011年12/26 (月)～2012年1/24 (火)
 ●後期日程 郵送・インターネット 2012年2/1 (水)～2/20 (月) 持参 2/21 (火)

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

全国28の都市に試験場を設け ①大阪・東京・金沢・名古屋・和歌山・姫路・岡山・広島・高松・福岡 ②浜松・京都・神戸・松山 ③札幌・仙台・新潟・福井・津・滋賀・松江・山口・徳島・高知・小倉・熊本・鹿児島・沖縄

2012年度 センター利用入試			
種別	個別学力検査実施日	学 部	試験地
センター前期	課しません	全学部	—
センター中期	2/7 (火)	全学部 (商学部を除く)	① ② ③
	2/8 (水)	全学部	
センター後期	課しません	全学部 (商学部を除く)	—

- 出願期間 ●センター前期 郵送・インターネット 2011年12/26 (月)～2012年1/13 (金)
 ●センター中期 郵送・インターネット 2011年12/26 (月)～2012年1/24 (火)
 ●センター後期 郵送・インターネット 2012年2/1 (水)～2/25 (土)

※郵送による出願の場合、締切日当日の消印有効となります。

TOPICS

★入学定員の増加に伴い、募集人員を変更 (増加) しました!

6月24日付で文部科学大臣より収容定員変更の認可を受け、「法学部・文学部・経済学部・商学部・社会学部・総合情報学部・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部」の入学定員を増やしました。詳しくは、入学試験要項 (教科・科目編) でご確認ください。

★2012年度入試より理工系3学部センター中期 (2/7実施) の個別学力検査において数学、理科から選択できるようになります!

理工系3学部のセンター中期において、関西大学の個別学力検査 (関西大学独自の問題) の教科・科目が2月7日は数学または理科 (2科目) の2教科から選択が可能になります。なお、2月8日の個別学力検査については、数学から英語に変更になります。詳しくは、入学試験要項 (教科・科目編) でご確認ください。

校友の皆様には、無料で「一般入試・センター利用入試要項 (願書)」をお届けいたします。

ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたらお役立てください。官製はがき又はFAXにてお届け先の住所・氏名を明記のうえ、下記までご請求ください。なお、年末年始はお届けに若干日数がかかることがありますので、ご請求はお早めをお願いいたします。また、本学へお越しいただいた方にも無料でお渡ししています。

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
 関西大学 入試広報グループ 関大願書請求「校友」係

FAX 06-6368-0903

入学試験に関するお問い合わせ

関西大学 入試センター 入試広報グループ

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1121 (大代表)
<http://www.kansai-u.ac.jp/nyusi/>

関西大学

第17回海外研修「台湾同窓との交歓と台北の旅」

「感謝の気持ちを携えて」56人が台湾を訪問 留学生OB会、台北関大会と合同交歓会開く

台風15号が関東、東北地方に被害を及ぼして過ぎ去っていった、秋晴れの9月23日から2泊3日の「台湾同窓との交歓と台北の旅」が実施された。

今年は台湾建国100周年の節目の年であり、東日本大

震災では世界で1番多額の義援金を、また台湾同窓からも関西大学に義援金をいただいた。

「今こそ台湾に行つて、私たちの感謝の気持ちをぜひお届したい」と、熱い気持ちの寺内俊太郎会長以下56人が10年ぶりに台湾を訪問させていただくことになった。

当日は、TVでも活躍

されている金美齢氏デザインの「ありがとう台湾オリジナルTシャツ」を全員着用して結団式、記念撮影ののち、2時間半ほどで桃園国際空港着。

バス2台に分乗して台北101展望台&シヨッピングモールを観光。台北101展望台は高さ508m地上101階、世界に誇る最高層ビルだ。89階の室内展望台からはビルや車がおもちゃのようになさく見え、台北のパノラマを満喫することができた。

宿泊するホテルは、ザ・リジェント・タイペイ。台湾校友との交歓会は6時から始まった。台北OB会、関西大学台湾留学生OB会、日本からの女子留学生、計22人と、寺内会長をはじめ、校友、同伴された素敵な着物やドレスで装った奥様方、校友の可愛いお孫さんまで全員で78人が一堂に会した。

始めに、スケジュールの都合で同行できなかった金美齢氏のビデオレターが映され、「義援金ありがとうございました。台湾と日本は距離だけでなく、50年間の統治を経て気持ちも近く感じられ、これからも共にいい気持ちを持つことを強く願っています」と述べられた。

その後、岩崎圭祐事業部副部長の司会で、伊藤晃充事業部長の開会の辞、黙禱。学歌斉唱の力強く、メリハリのきいたリーダーは馬淵純一広報部員、寺内会長の心からのお礼の言葉、台北関大会の阪本

誓史会長や留学生OB会の李銘坤会長の歓迎の挨拶、乾杯の発声は大谷啓二副会長と続いた。

宴たけなわとなり、あちらのテーブルでも紹興酒で乾杯！こちらのテーブルでも紹興酒で乾杯！またまたあちらのテーブルで乾杯！乾杯！

烏山頭ダムで先人の偉業に胸つまる

八田與一夫妻の墓に寺内会長が献花

昨夜の余韻が残る2日目の朝、市内観光、北海岸観光、台南観光そしてゴルフ組にわかれて、それぞれ出発した。私たち15人は台北駅から台湾新幹線に乗り、台南駅に。新幹線は車両、運行システムとも日本の企業のもので導入されており、日本の新幹線とほぼ同じで、1時間45分の快適な旅を満喫した。台南駅からはバスで目的地の「烏山頭ダム」へと向かった。日本ではあまり馴染みのないダムであるが、これを建設したのは、日本人「八田與一」。台湾で最も愛され尊敬されている日本人といっても過言ではないだろう。その功績は日本人として大きな誇りである。現地では、楠見晴重学長の

乾杯！

楽しい交歓会の名残りはつきないが、古川好男副会長の閉会の辞でお開きに。

が、やっぱり名残りは尽きなくて、場所を変えラウンジのあちこちで交歓会。母校の話や、仕事の話で盛り上がり、台北の夜は更けていった。

教子子である正修科技大學・柯武徳准教授に、ダムのある八田與一記念公園をご案内していただいた。そこは一大観光地となっており、当時の宿舍を再現した建物、資材を運ぶための蒸気機関車、またキャンプ場では多くの若者がバーベキューを楽しんでいた。記念館ではダムの計画から着工、完成にいたるまでスライドによる詳しい説明を受け、改めて感銘した。ダムを見下ろす場所には感慨深く大きな湖を見つめる八田與一の銅像があった。その後ろにはご夫婦の墓が建てられており、寺内校友会から花が捧げられた。ダムについて少し触れておきたい。このダムはもともと灌漑を主として作られたが、発



電機能も備えており、長さ1273m、幅9m、高さ56mの堤を建設し、まるで大きな湖のようである。上空から見ると緑色の珊瑚のように見えるためダム湖は珊瑚湖と称されている。当時、東洋では初めて、堤の中央にコンクリートコアを作りその上から粘土、土砂を積み上げるといふ「セミ・ハイドロリックフィル工法」を採用した。その堤は自然にうまく溶け込んで人工のものとは思えない。まるで淀川の土手を歩いているようだ。八田與一が台湾、特に台南の人々から今でも尊敬される理

由は、ただダムを完成させただけではない。ダムと同時に水路総延長1万6kmに及ぶ灌漑施設を造った。

農地が最大限活用できるような広大な嘉南平野の区画整理を行い、水が効率配水されるよう3年輪作給水法を取り入れ、多くの農民がこの恩恵を甘受した。また工事中に亡くなった人々134人を刻んだ殉工碑を竣工直前に建てたが、日本人、台湾人分け隔てなく亡くなった順に刻んであるのも八田與一の分け隔てのない仲間意識の表れである。

ダムは10年の歳月を費やし

1930年ようやく完成した。その後フィリピンに赴く途中、彼を乗せた大洋丸が米潜水艦の魚雷攻撃を受け撃沈、戦死した。1942年5月8日である。悲しいかなその3年後、彼の妻、外代樹は彼の造ったダムに投身自殺した。5月8日の命日には毎年慰霊祭が行われ、今年は「八田與一記念公園」の完成式典もとり行

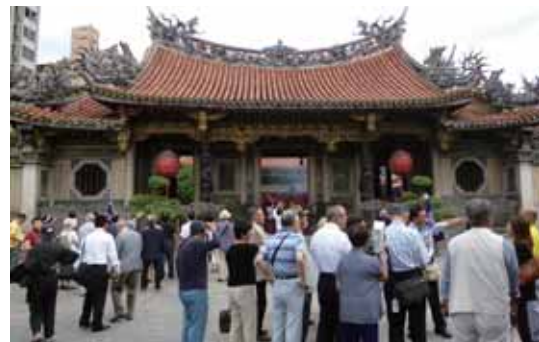
われ、馬英九総統や同じ石川県出身の森喜朗元総理も出席した。私たちはこの現地にきてこの偉大な日本人の功績を肌で感じる事ができ、銅像の前に立った時、彼に会えたことに大きな喜びを感じた。まさに日本人の誇りであるところであらためて感じたのは私だけではないだろう。偉大なる八田與一に全員が集まり記念写真におさまった。振り向いてもう一度満々と水をたたえた湖を見ると、穏やかな湖面と彼の顔が重なっているように見えた。わずかな滞在時間であつたが、名残り惜しく台北への帰途についた。

夕食後、希望者だけで夜市に出かけた。

裏通りや路地に数軒の服飾店や食べ物店がひしめいており、午後から夜中の12時まで、若者や家族連れが楽しそうに買物をしたり立ち食いしたりと活気に溢れ、台湾の素顔を見た思いの楽しい場所だった。

3日目は、故蒋介石前総統を称えるメモリアルホール「中正記念堂」を見学。孫文、宮崎滔天、梅谷庄吉、山田兄弟、蒋介石、宋家の3姉妹ほか、辛亥革命には中国人、日

本人がともに関わり、その革



命の志は「清朝打倒とアジアの復権」と何かで読んだ。遠い時代の歴史もいいが、近代の歴史を勉強したいと思った。

その後、龍山寺観光。長く太い線香を持った沢山の人がお参りしていた。一心不乱にお祈りしているお年寄りたち、何を祈っているのだろうか。

近い国台湾、友好的な国台湾、日本とこんなにも深い関わりがあつたことを再認識した。

なお、交歓会の折、李会長から「10月16日の母校の校友総会に台湾留学生OB会のメンバーが出席します」との嬉しい約束をいただいた。

多謝として再見。

(広報部長 三木允子、
広報部 馬淵純一)

ANSAI KUグッズ
NIVERSITY

For Memory & Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生生活協同組合 TEL:06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp

インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

「関西大学校友会産学サークル」の構築を目指して

連携プロテューサーの企業訪問——ものづくりの現場のいま——

2

何でもよく見て、変化を感じる。そして予測する。

株式会社日本スペリア

(株)日本スペリア社は、はんだ付・ろう付用金属接合材料を開発、製造販売しています。創業以来、技術・販売・宣伝という「三種の人技」の基本精神を踏まえ、「安心・信頼・誠実」をモットーにして、高度化、多様化する金属接合材料の新しいニーズに応えるものづくりを展開しています。

(株)日本スペリア社の製品・技術は、暮らしに密着した製品からハイテク製品まで様々な分野で使われています。エレクトロニクス部品に組み込まれる電子部品の実装に不可欠なはんだ付材料・機器(ソルダーリング)、および、給湯器・冷蔵庫などの配管接合のろう付材料・機器(ブレイジング)を提供しています。

を用いた鉛フリーはんだの新製品を開発しました。独自開発製品である「SN100C」で培ってきた錫—銅—ニッケル系合金に銀などを添加し、金属間化合物の優れた特性をキーブツツ、用途に応じた特長を伸ばしたものです。

実用的な鉛フリーはんだは、特性、特許、コストの3条件が製品開発の重要なポイントであると考えています。固さや粘り、融点など金属物質としての基本特性によって、はんだの品質は大きく変わります。はんだに適した材料であるが、その物性、作業性と信頼性を有しているか、が重要なことです。また、安心して使用するために、生産、流通、販売する国や地域で、特許を取得していることが大きなことです。さらに、いくら高品質でも、貴金属を多く含むものなどあまり高価な材料は、コストアップとなります。

この他にも、ガイド線入りやに入りはんだ、第2世代完全ハロゲンフリーはんだなど新製品を開発しています。これらの成果に対して、経済産業省などから多数表彰されています。国際社会に貢献する企業として

が製品開発の重要なポイントであると考えています。固さや粘り、融点など金属物質としての基本特性によって、はんだの品質は大きく変わります。はんだに適した材料であるが、その物性、作業性と信頼性を有しているか、が重要なことです。また、安心して使用するために、生産、流通、販売する国や地域で、特許を取得していることが大きなことです。さらに、いくら高品質でも、貴金属を多く含むものなどあまり高価な材料は、コストアップとなります。

海外のトップ企業との業務提携や製造・販売拠点の設置を積極的に行い、グローバルネットワークの構築を図っています。現在、海外の拠点として、販売拠点、製造拠点、駐在員事務所、OEM製造委託先、ライセンス生産先など多数の拠点を展開しています。海外進出は、「どこで作って、どこへ売る」、「現地に種を撒き、しばらくは日本から水と肥料を与える」を基に進めています。資金、人材、情報は、現地企業にとつての水と肥料になります。最終目的は、「地産地消」体制の実現を目指しています。売りっぱなしではなく、顧客に密着し、自社で手の届かないところは海外のライセンスパートナーと組み、グローバルフローで的確な顧客対応をスピーディーに行っています。「地産地消」こそ、グローバルを目指す企業の存続の手段と考えています。

金属接合材料のメーカーとして、世界の産業界に活動フィールドを広げる(株)日本スペリア社は、顧客にとってのベストソリューションを追求したグローバルなものづくりのビジネスモデルを提案し続けます。



現在、地球環境と最先端技術の融合を目指して技術開発とものづくりを推進しています。その成果の一つであるはんだから有害物質の鉛を除いた錫—銅—ニッケル+ゲルマニウム組成の鉛フリーはんだ「SN100C」は、世界23力国地域で特許を取得し、高い接合信頼性と環境への配慮が評価され、エレクトロニクス産業分野で採用実績を伸ばしています。さらに、2011年、新合金



所在地：〒564-0063 吹田市江坂町1-16-15 NSビル
代表者：代表取締役社長 西村 哲郎
TEL：06-6380-1121
FAX：06-6380-1262
<http://www.nihonsuperior.co.jp>

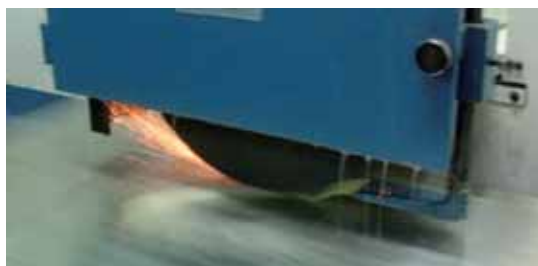
三つの汗、身体（行動する）、頭の汗（智慧を出す）そして心の汗（意識する）をかく

株式会社テクノフロント

独自の鋼材と加工技術という二つのコアビジネスで事業を展開している（株）テクノフロントは、主要鋼材のブランドメーカーの工具鋼を用いた金型入子材ならびに金型プレート材のメーカーです。また、マイクロン精度、ナノ精度の精密機械加工の受託を行っています。さらに、カッティングオイル、レーザ加工によるボトル（ガラス）のラベル彫刻などアイデアを生かした開発商品も製造しています。

金型鋼材の中でも自動車部品や電気製品などで需要の多いプラスチック成形金型向け鋼材に特化しています。単に鋼材を仕入れて販売するだけではなく、

く、主要顧客である金型メーカーが、即、活用しやすい形状に加工することで付加価値を高めています。（株）テクノフロントでは、精度と品質に焦点を当てて、素材から精密機械加工（フライス加工、研



磨加工、ミガキ、出荷に至るまでの一貫した作業工程を確立し、これに従事する作業員に継続的な技能教育を行っています。



ます。このシステムを「TECシステム」と名付けています。「TECシステム」は難しいことをやっているのではなく、作業員の誰にと

ってもわかり易く作業工程を「見える化」したものです。「TECシステム」は、事業展開を図るため、製造と営業、財務の三点から経営を見直し、現在のビジネスモデルを生み出しました。ものづくりを製造ととらえるのではなく、開発から販売まで全部門が携わる広義のものづくりととらえています。ものづくりをことづくりの視点で追及し、ものづくりでブランド価値を創る、つまり、適正な品質が顧客に伝わるシステムが確立しています。

精密機器加工の付加価値を

追求し、独自の技術開発によって「機械の八大要素」を見つけて出し、それぞれを規格化することで高品位なものづくりを実現しています。「機械の八大要素」のうち七要素はハード、八番目が「ヒューマン（オペレータ技術）」となっています。「機械の八大要素」は、「三つの汗」の成果として（株）テクノフロントのノウハウになっています。特に、研磨加工の工程において徹底した精度管理を行い、マイクロン精度の六面研磨加工とナノ精度の超鏡面加工では、他の追随を許さぬ実績と評価を確立しています。これらの加工の特徴として、砥石のブレをミクロン刻みで抑制、研削液の定温保持、熱膨張による歪みの制御、さらに、研削液の過

して「超鏡面加工」の外販も求めています。近年、CD・DVD金型、自動車用ライト金型、携帯電話の窓枠金型およびダイカスト金型などの表面において非常に高い鏡面性が要求されています。（株）テクノフロントのものづくりを支えているのは、徹底した現場主義で、すべてをファクトに基づき「見える化」することで合理的な判断とスピーディーな問題解決につながっています。

「私たちは、情熱（Passion）を持って仕事に取り組んでいるだろうか？」「私たちは、当社の考える使命（Mission）を果たしているだろうか？」「私たちは、的確な行動（Action）をしているだろうか？」と、これからも、品質管理、温度などの加工環境管理、計測・検査システムによる安定した精度管理、さらに、納期の短縮などの工程管理、コストの低減などコスト管理を徹底することで、顧客をはじめ業界、社会から寄せられる『期待』の実現を図っています。

所在地：〒577-0065 東大阪市高井田中3-5-7
代表者：代表取締役 長尾 吉訓
TEL：06-6787-8884
FAX：06-6787-8804
<http://www.technofront.jp>

（校友会連携プロデューサー 田中久仁雄）

株式会社ロイヤルホテル 代表取締役社長

川崎 亨 氏

(昭48学法)

Toru
Kawasaki

関西の迎賓館的なホテルとして誕生して以来、76年の伝統を誇るリーガロイヤルホテル（大阪）。グループホテルを開業しネットワークを充実した拡大成長期の後、バブルの崩壊で負の遺産を背負うなど、その歴史は順風満帆ではない。

生粋のロイヤルホテルマンとして、昨年（22年）6月にトップに就任された川崎亨社長（昭48学法）。ナンバーワンホテルとしての品格とサービスを堅持しつつ、「10年後ホテル全面リニューアル」という目標に向け、若い社員を中心に社内の総力を結集して邁進しておられる。中之島の本社を訪ね、お話を伺った。

社長就任後、組織改革と若返りを実行 プロジェクトチーム立ち上げ問題点を検討

——昨年（平成22年）6月に社長に就任されましたが、その時新たに組み組まれたことをお聞かせください。
社長に就任して1年とちよつとになりますが、ほんとうにあつという間でした。

前半は、10力所あるグループホテルを回って、そのトップだけではなく社員たちとも面談をし、組織替えと人事の若返りを断行しました。年代的にいうと60歳前後の者が各ホテルの総支配人に就任していたのですが、一気に10歳くらい若返らせました。

わが社もバブル崩壊やリーマン・ショックその他の影響を受け、厳しい経営状況にありましたし、加えて、外資系をはじめ競合ホテルの進出など業界環境も厳しいものがあります。そういうところに晒されている状況を説明して、年配の人には、若手を指導してくれ、若い人には「思いっきりやれ」と言葉を尽くしての改革でした。果たしてできるのかと心配する人もおりましたが、ポジションを与えとてできるものです。ポジションが人間を作るとも言われています。

ね。

そして、旗艦であるここ大阪のリーガロイヤルホテルで新しく部長になった人たちをリーダーに、入社4～5年の若い社員も入れたプロジェクトチーム（以下PT）を立ち上げました。

——若い人たちが意見を出しやすい組織を作られたということですね。

大阪でトップホテルとしての確固たる地位を取り戻し、将来的に発展するためには業務効率の向上は避けられませんが、「先ず削減あり」ではなく、「みんなの意見を聞く」ということで、意見集約を最初に取り組みました。

これには、一つは「時代の変化に対応できる体制の構築」という意味もありましたし、さらに「私はこんな会社で働いている」と、社員意識を高揚させる側面もありました。

PTにはホテルの様々な課題、例えば「営業は、今はこうだが、将来的にはどうした方がいいのか」とか、「宿泊部門は？」と、いろんな問題を様々な視点で検討してもらいました。「最後の責任は私が取るから、若い自由な発想を出してくれ」というスタンスです。上司はあまり口を出さずに自由に討論してもらつので、中にはビックリするような提案



▲リーガロイヤルホテル（大阪）全景

も役員会上がってきましたが、貴重な意見もたくさん出しました。



川崎 亨 社長プロフィール

昭和25年 3月 香川県坂出市生まれ
 昭和48年 3月 関西大学法学部卒業 (株)ロイヤルホテル入社
 62年 8月 ザ・ウォルドルフアストリアホテル(ニューヨーク)研修
 平成元年 9月 (株)リーガインターナショナルオーストラリア出向
 6年 2月 国際企画部副部長、11月 宿泊部長
 7年10月 営業本部セールス支配人
 10年 4月 (株)リーガロイヤルホテル成田出向 常務取締役総支配人
 14年 2月 執行役員 連系事業部長
 15年 5月 常務執行役員 人事部長
 16年10月 常務取締役 リーガロイヤルホテル(大阪) 総支配人
 18年 4月 監査室・総務部・人事部・事務集中部担当、コンプライアンス委員長
 20年 1月 リーガロイヤルホテル京都総支配人
 21年 4月 人事部・グループ運営推進部・グループ営業本部・情報システム部担当
 22年 6月 代表取締役社長(現在に至る)
 座右の銘は「人間(じんかん)到處青山(せいざん)あり」
 趣味は読書で、とくに歴史小説(中国)や推理小説が好み。

8月に新レストラン「リモネ」オープン
P.T.の提案をカタチにし、成果あげる

——ホテルへ向かうリムジンバスの中で、レストラン「リモネ」が紹介されていましたが、それもP.T.から生まれてきたものですか。

そうです。8月10日にオープンした新レストラン「リモネ」は、P.T.の提案をカタチにしたものの一つです。

ROOMZOMは、新しい食のスタイル(Zoo)とリーガロイヤルホテル創業76年の伝統的な味(Old)をミックス(Mix)したレストラン(Restaurant)を意味する造語です。朝・昼・夜と一日中、これまでにないリーズナブルな料金で多彩なメニューを提供しています。

新レストランのオープンは、中期経営改善計画の一つの象徴にしたいという思いで取り組みました。

今までレストランの改装といえば、管理部門や施設部門が企画を作り、イメージ図を設計会社に渡す。メニューは調理部門が、サービスは現場の人がそのイメージに合わせ

て、といふふうになってきたのです。今回は、最初から料飲部長、料飲の若いスタッフも入れてP.T.で案を練りました。「もっと安価にしないとお客さんが来ないのでは」、「もっとメニューを考えないと投資に見合う利益が出ないのでは」と、侃々諤々でした。これまで、料飲部長はじめ料飲部門の人が、そんなことをやったことはなかったし、自分たちの役目とは思っていませんでした。それを皆が同じ場に立って意見を出し、企画し、実践してもらったことはとても良かったと思います。

料飲部門は、いわば職人さんの世界です。古いやり方にも良いものがあり、私たちの年代には分かるのですが、今の若い人にはそれでは通じないし、組織を変えるためには優しいことばかりも言っておられません。自分たちで決めた企画ですから、必死でやってくれています。

また「リモネ」の広報・PRもP.T.で考えました。これまでの広報・宣伝活動を再検討し、今まで当ホテルでは使ったことのないインターネットのブログなども駆使しました。まだ試行錯誤の段階ですが、限りある経費で、より効果的なことを考えています。

優良建築物と評価され賞を受賞
ブライダルゾーン新設、客室の改装も



▲8月10日オープンした新レストラン「リモネ」

——歴史のあるホテルですから、古くからのお客様も多く、若く斬新な企画との齟齬などがあるのではないですか。

おっしゃるように、お客様の層は年配の方が多くいます。50代、60代の方に満足してもらえたら良いと言われる方もいますが、もう、そういう時代ではなくなっている。当然、その人たちはこれからも大事なお客様ですが、30代・40代を取り込んでいかなければ未来はありません。

ブライダル専用ゾーンの新設も若いお客様を意識してのことです。ブライダル事業は、ホテルでも重要なセグメントの一つで、お客様に高く評価していただけていますが、披露宴を一般の宴会場で開いていますと、結婚式が重なった日などは、式場や披露宴会場の途中で、他の新郎・新婦とすれ違う場面があり、クレームをいただいたことがありました。これらを解消し、近頃のブライダルへの希望を組み込んで、内装はもとよりレイアウトも一新し、ヨーロッパ・クラシック風にしました。これもブライダル部長を入れたP.T.チームで、費用対効果をはじめ今後の営業体制も含めて検討しました。今は、客室の改装に取り組んでいます。

ただ、アンケートを取ると、敷居や価格が高い」とか、古い」とかの回答が目立ちます。実際、昔は高かったかもしれ

ませんが、ここ10年くらいで世間相場に合わせてきています。古いといつこ意見では、ホテルは西側の建物(ウエストウイング)で築46年、新館(タワーウイング)で築38年と確かに年数は経っています。しかし、メンテナンスには力を入れており、平成17年には、「竣工後30年以上を経過した特に優秀な建築物を、優れた維持保全を行い、現在でも有効に活用している」物件に対して贈られるBELCA賞(ロングライフ部門)を受賞しています。

とはいえ、新築ホテルの魅力は大きいですから、私にも中長期計画として目指すところがあります。

10年後目標にホテル全面リニューアルへ 中之島西地区の再開発事業で

——それが9月16日に森トラスト(株)と新たな資本業務提携をされ、ホテルの土地を譲渡する契約を結ばれたことと関連するのですね。今後の展望をお聞かせください。

森トラストさんとは以前から資本業務提携を結んでおり、わが社の筆頭株主として、全面的な協力をいただいております。わが社の将来展望等を話し合う中で、リーガロイヤルホテル(大阪)のある中之島西地区の再開発事業を、ホテルの建替えを含めて、10年後の実現を目指して行うことで合意しました。土地は10年の定期借地で、家賃を払うこととなりますが、財務体質の改善に繋がり、ロイヤルホテルブランドの拡大・発展を目指すことができます。

また、わが社は創立時から関西政財界とは深い繋がりがありますので、今回もアサヒビル、サントリ、関電不動産、大阪瓦斯、竹中工務店等の各社にご協力をいただいて進めることになっていきます。

これで、ホテルの建替えに目途がつかしました。目標に向かって私たちが頑張ります。10年後には私は多分ありませんが(笑)、若い人に頑張ってもらわなければならないですね。私が入社した時に、新館(タワーウイング)が完成しましたが、それはワクワクしたものです。

そこで今、ロイヤルホテルのブランドを再構築しようというところで、若い人たちが中心になってP.Tで検討しています。これには外部の人にも入ってもらって、「大阪の迎賓

館」と言われた創立時からの社史を継ぎながら、毎朝、朝礼で唱和する、「リーガロイヤルビジョン」なども参考にして検討しています。

なお、現在も会社名は(株)ロイヤルホテルですが、平成2年4月にグループ名をリーガロイヤルホテルグループに改称しました。これはRoyal International Hotel Group & Associatesの頭文字REGA(リーガ)で、新しい時代に対応して、それぞれの個性を生かした魅力的なホテル像を追求するグループのシンボルとして制定されたものです。若い社員はこの名前になってからの入社です。技術系の会社で技術の伝承があるように、ホテルもサービスの伝承をしていかなければいけませんので、ブランドの再構築を進めています。

学生時代には1年間南米を旅行 「一流へいけ」でロイヤルホテル入社

——川崎社長は法学部のご卒業ですが、ホテル業界に入られた動機は。

私は、一中・一高・関大と進みました。最初に母親が関大と関学の参観に行きまして、「関大の方が元氣だったから関大へ行け」とこれで決まりです。高校時代は軟式テニスをやっていました。テニス部に入ったらモチベーションが上がると思ったのですが、柔道部や他の体育系のクラブが見学に来るくらい厳しかったです。テニスをしているより、トレーニングで階段を走っている時間の方が長かったです。割と強かったですね。3年生の時には近畿で上位入賞もしています。

大学へは5年行きました。3年生までにほとんどの単位をとり、1年間休学して海外へ出ました。当時、無銭旅行が流行ってましてね。最後の移民船に乗って南米へ1年間行きました。パナマ運河を通り、アルゼンチンのブエノスアイレスまで45日かかりました。そこからヒザの関係で1つの国に約3か月滞在しながらブラブラしました。

1ドル360円の時代で、旅費は往復45万円。学生時代は、ちよと学園紛争の影響で授業のない日が多かったのでも、とにかくアルバイトに勤しみました。西宮球場のチケットもぎ、スコアボード係(当時は手書きでした)、球場では



▲一高時代の軟式テニス部の仲間と(右上が川崎社長)

競輪もやっていたので、バンクの設営もやりました。夜中は大阪駅の鉄道郵便局で郵便袋を貨車に積み込む仕事をしました。お陰で、旅費と僅かな生活費分を貯めることができました。

——どうして南米にいかれたんですか。

ベルーのマチュ・ピチュ遺跡を見たかったです。良かったですよ。本当に。あんな山の上に何でこんな石造物ができるんや?やっぱエイリアンしかあらんのかなと思います。ベルーとボリビアにまたがるチチカカ湖でも、毎日湖畔に行って一日中ぼーっとしていました。それも楽しかったです。帰りたくなかったですね。

海外は良いなあと思っていて、就職は、商社ばかり受けたんですが、なぜか全部落ちてしまった。親戚の人に相談したら、ホテルを勧められ、「一流のどこへ行け。大阪ならロイヤルや」と言われて受けたんです。

入ってみると関大出身者が大勢いました。いま専務取締役をしている西村孔邦は同期です。定年で退いた者もお



▲三木広報部長（左）、西野副部長と一緒に

ります。

NY研修で新しいホテル経営学ぶ ケアンズでバブル景気と崩壊を体験

——入社してから、楽しかったこと、「苦労されたことなど思い出に残っているエピソードをお聞かせください。

入社後はしばらくは、ジーンズとサンダルで出勤していました。気楽でいいなと思っていたのですが、ある時、先輩に「君、出勤する時Tシャツとジーンズか？明日、ランチに行こう」と。その時に言われたのは「チャンスを失うよ」という言葉でした。それなりどころへ行くのに「これではまずい」と思い、それからは、最低でも背広一着はロッカーに掛けておき、出勤の時も上着を着るようになりました。

今の若い人もブレザーくらいはちゃんと着てほしいですね。会社としてもそうしないとけないと思います。

また、昭和60年ころには、フロントや一般職の人にはニューヨーク研修がありました。私も行かせてもらいました

が、海外は進んでいるなと思いましたね。ザ・ウォルドルフアストリアという古いホテルでしたが、良い経験でした。それで、「こんなところが進んでいます」、「うちのホテルもこうしたら」と一所懸命レポートを書いて会社に送りました。しかし、帰って来たら歴代研修者のレポートが人事部の棚にズラッと並んでいるだけで、何も変わらなかった。

「これではアカン。外資系のホテルが日本に上陸してきたら負けるな」と思いました。そんな時、「ケアンズ（オーストラリア）に行かないか」と勧められ、現地のことは何も知らずに「ハイ」と手を上げたんです。バブル景気による海外進出の始まりで、その後、ボルネオ（インドネシア）、アメリカにも進出することになるのですが、ニューヨークのホテルに立ち寄った時には、「何で俺、ケアンズなんや」と羨ましかったですね。

——ケアンズでの赴任生活は大変だったんですか？

欧米人向けの長期滞在できるホテルを買収し、少し手を加えて日本人も宿泊できるホテルにしたものです。亜熱帯ですから屋根はタンタニ、壁はブロックにペンキを塗っただけという状態でした。また現地人スタッフと日本の本社との間に立っているという苦労しました。

5年半勤務しましたが、家族も一緒です。子ども二人で長男が中学2年生、長女が小学校5年生だったと思います。日本人学校はないので、現地の学校に入れました。「楽しいからいい」と言ってくれたのは助かりましたが。

ケアンズでは、オーストラリアの田舎の町が脚光を浴びて、日本の大企業も多くの投資を行い、町がどんどん変わっていくのと、バブルがはじけて、巨大な投資物件を東南アジア資本が安く買っていくのを目の当たりにしました。「こんなことになるんやなあ」と思いました。貴重な体験をさせてもらいました。

10年後の目標に向かって進む 若い社員の「やる」気概に期待

——他の人にはできない体験をご家族でされたわけですね。その後、日本に戻られてからは…。

うちの会社が、「バブル後のオーストラリアのようになっている」とは思いませんでした。帰国して最初に総支配人

を務めたのが成田です。平成10年です。総支配人としての就任挨拶で夢のある話をしたのに、一週間も経たないうちに役員が来て、「川崎、ここ閉めるんや」と言われ、青天の霹靂でした。従業員には閉めるとはまだ言えませんが、辛かったですね。成田の従業員には、「このホテルをどうしたらいいのか勉強しろ。君らが頑張らなくてどうする」と言い続けました。彼らも自分たちで仕事を決めてやっていくというのはいい習慣になったと思います。

その後、大阪、京都で総支配人を務めました。京都では総支配人が関大出身だということで、支部総会をリーガロイヤルホテル京都で開催してくれるようになりました。ありがたかったです。

また、大学の上原理事長、森本理事・相談役には大変お世話になってます。いつも気にかけていただいて、何か催し事があれば声をかけていただいています。

それと、社長就任が新聞に出たからは、ゼミの仲間や高校時代の、顔も思い出せない同級生などから、「お前のご使おうか」と連絡をもらったりしました。これもありがたかったですね。

——これまでのお話で感じたのは、バブル崩壊というのが非常に大きかったな、ということですね。

そうですね。その影響で、建物というハードの面だけでなく、サービスや人材の育成というソフトの面でも大きな痛手を受けました。途中で、十分な人材の継承ができなかったからです。

ただ、私たちの年代は、入社した時の華やかな時代から、一番苦しかったときのしんどさも知っています。今の若い社員は、その「しんどい思い」はなくてもよいと考えています。2021年の新構想に向けて、今から10年後というのは、道のりとしては厳しいですが、彼らの「やる」という気概さえあれば、必ず達成できると思っています。私も、そのための努力は、精一杯続けていきます。

——社長の強い決意をお聞きしたところで、インタビューを終わらせていただきます。長時間に亘り貴重なお話を聞かせいただき、ありがとうございました。10年後のホテル全面リニューアルに向けて、ますますご活躍いただきますようお願いしております。

（聞き手 広報部・三木允子部長、西野京子副部長）

おめでとうございます—秋の叙勲・褒章

政府は、11月3日付で平成23年度秋の叙勲受章者を、2日付で褒章受章者を発表しました。それに先立ち10月8日付で危険業務従事者叙勲受章者を発表しました。

校友会事務局で確認できた関西大学関係者は次の皆さん。心から祝意を表します。

なお、調査は近畿2府4県を中心に行っていますが、万全ではなく、未掲載の受章者をこ存じの方は校友会事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。

掲載は、氏名・卒業年学部・年齢・職業・住所の順。敬称略。

叙勲

旭日中綬章

上月景正（こうづき・かげまさ）昭41学（経）70歳。コナミ会長兼社長。東京都港区赤坂9-7-2コナミ（株）気付。

武田文蔵（ただだ・じょうぞう）昭30学（法）78歳。元兵庫県議会議員。伊丹市大鹿5-45。

瑞宝中綬章

大石準一（おおいし・じゅんいち）78歳。名誉教授・元社会学部教授。吹田市山田北15-1-804。奥 敏照（おく・としあ

き）昭42学（法）70歳。元最高検察庁事務局長。枚方市岡本町7-1-1301。

岸井貞男（きしい・さだお）昭35D（法）79歳。名誉教授・元法学部教授。川西市大和4-13-9。

旭日小綬章

伊藤孝義（いとう・たかよし）昭32学（経）82歳。元吹田市議会議員。吹田市朝日が丘町12-22。

住野勝美（すみの・かつみ）昭35学（文）74歳。元明石市議会議員。明石市大久保町高丘2-4-20。

瑞宝小綬章

西村健市（にしむら・けんいち）昭26高（2普）79歳。元大阪府立中宮病院事務局長。交野市天野が原町1-25-4。

小西庸夫（こにし・つねお）昭39学（法）71歳。元淡路県民局長。明石市松ヶ丘3-6-10。

旭日双光章

嶋田陽弘（しまだ・たかひろ）昭39学（経）70歳。元奈良県木材協同組合連合会副会長。大和高田市藤森371。

山根幹夫（やまね・みきお）昭33学（経）75歳。元山口県サッカー協会副会長。山口市駅通り2-9-14。

横尾洋一（よこお・よういち）昭33学（法）76歳。全国乾

麺協同組合連合会副会長。たつの市龍野町中霞城171。

瑞宝双光章

田中淳之助（たなか・じゅんのすけ）昭39学（法）70歳。元近畿通商産業局神戸通商事務所長。奈良県生駒郡三郷町夕日ヶ丘4-38。

中川 望（なかがわ・のぞむ）昭39学（法）74歳。保護司。羽曳野市野々上5-17-15。

永田敏一（ながた・としかず）昭40学（法）70歳。元近畿運輸局大阪陸運支局長。西宮市上田市2-7-8。

八代醒弘司（やしろだい・ひろし）昭38学（法）75歳。元尼崎北郵便局長。寝屋川市堀溝1-12-2。

保田 喬（やすだ・たかし）昭25学（経）83歳。元公立中学校長。羽曳野市高鷲7-3-12。

安田雅一（やすだ・まさかず）昭35学（法）73歳。元公立小学校長。天理市檜垣町44-6。

瑞宝単光章

橋本洋一（はしもと・よういち）昭34北陽（高）71歳。元尼崎市消防団分団長。尼崎市尾浜町2-13-27。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

岡野秀美（おかの・ひで

み）昭34学（法）74歳。元警視長。堺市南区赤坂台1-55-3。

合田 稔（ごうだ・みのる）昭31学（法）78歳。元警視長。神戸市垂水区西舞子2-12-54-115。

中原田道雄（なかはらだ・みちお）昭41学（法）70歳。元大阪府警視。堺市中区土師町1-7-7。

広田邦男（ひろた・くにお）昭42学（法）69歳。元大阪府消防監。八幡市男山竹園4-102-206。

藤澤 護（ふじさわ・まもる）昭41学（法）70歳。元警視正。堺市南区原山台2-3-3-1204。

堀 繁雄（ほり・しげお）昭38学（法）73歳。元警視長。茨木市室山1-19-9。

元吉公臣（もとよし・きみおみ）昭38学（法）78歳。元警視長。堺市美原区さつき野西1-18-24。

瑞宝単光章

山下郁夫（やました・いくお）昭38学（商）70歳。元大阪府警警部。泉南市信達大苗代1128-35。

褒章

黄綬褒章

井畑正敏（いはた・まさとし）昭39学（法）71歳。土地家

屋調査士。芦屋市緑町2-503。

藍綬褒章

西尾恒太（にしお・つねた）昭44学（文）64歳。元大阪府石油商業組合理事長。吹田市青山台3-37-2。

農協靖門（のうわき・やすかど）昭25学（法）84歳。住吉防犯協会会長。大阪市住吉区长居西2-10-23。

宮下寛邦（みやした・ひろくに）昭34学（商）75歳。保護司。大阪市此花区春日出北1-5-11。

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店

学・校章型薯蕷(上)謹製

厚生大臣賞
日本食品衛生協会賞

和洋菓子

株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550

代表取締役 山本 雅己(S53学1法卒)



日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金を返還している方へ

ご存知ですか? — 奨学金の返還期限猶予・減額返還制度について —

校友のみなさんの中には、在学中に日本学生支援機構(旧・日本育英会)の奨学金の貸与を受け、現在返還中の方も多くおられることと思います。

ご承知のとおり、現在においても先輩からの返還金は、直ちに後輩の学資金として貸与される仕組みとなっており、奨学金制度の運用のために計画に基づいた円滑な返還が求められています。

しかしながら、経済的に返還が困難になった場合には、「返還期限猶予」や「減額返還制度」が設けられています。特に、このたびの東日本大震災で被害に遭われた方に対しても、申請を受け付けていますので、詳細については下記をご覧ください。

また、家計急変した世帯で(東日本大震災により被災された方も含む)奨学金を必要とする学生・生徒がおられる場合は「緊急・応急採用奨学金」の推薦を受け付けています。推薦の申込は在学を通過して行われますので、詳しくは在学している学校へお問合せください。

記

1. 減額返還・返還期限猶予の受付について

■ ■ ■ 返還が困難になった場合 ■ ■ ■

奨学金の返還が経済的に困難な場合は、「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出してください。

(東日本大震災に被災された方のうち、災害救助法の適用を受けない近隣の地域であっても、同等に被災された方や勤務先が被災した方については、返還を減額・猶予できる場合があります。)

返還期限猶予・減額返還の制度・願出方法の詳細については、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。か、奨学金返還相談センターにご相談ください。

日本学生支援機構 奨学金返還相談センター

電話：0570-03-7240 (ナビダイヤル)

PHS、一部携帯電話、IP電話からは03-6743-6100へおかけください。

受付時間：8時30分～20時00分

月曜～金曜(土日祝日・年末年始を除く)

■ ■ ■ お願い事項 ■ ■ ■

- 奨学金返還相談センターにお問合せの際には、お手元に奨学生番号のわかるものをご用意ください。
- 転職などで住所変更された方は、必ず奨学金返還相談センター[電話：0570-03-7240 (ナビダイヤル)]へご連絡をお願いします。

「くもんの先生」募集中

くもんの先生は地域の子どもの成長と一緒に応援できる仕事です。「子どもに教えることができるか不安…」大丈夫です。私たちがサポートしますので、一緒に学んでいきましょう。子どもの能力を育み、自らも高めることができます。随時、「くもんの先生」説明会を実施しています。この機会にお気軽にご参加ください。

KUMON

日本公文教育研究会 近畿ゾーンリクルートチーム
〒532-8511 大阪市淀川区西中島5-6-6 公文教育会館2階

0120-834-414

受付/9:30~17:30 (土・日・祝除く)

お問合せいただいた方には「くもんの先生」のことがわかるDVDを、説明会にご出席いただいた方には公文式のことわかる書籍をプレゼントしております。

くもんの先生をはじめませんか
くもんの先生 検索

先生の体験談と説明会日程の検索、お申し込み、資料請求、お問い合わせはこちら

くもんの先生の仕事

- 教室は週2回(午後の5時間程度)
- 教科は算数・数学・英語・国語
- 収入は生徒数により異なります。
(開談時に「開談認可料」105,000円が必要です)

応募の資格

50歳までの女性。
充実した研修制度があるので未経験でも安心です。
(研修費無料)

ケータイから
簡単アクセス



「くもんの先生」
説明会
受付中!

KUMONでは各地域で「くもんの先生」説明会を実施しています。



第1回大阪マラソンに協賛

学生・教職員19人が元気に出走

通訳、給水などに多数のボランティア

10月30日(日)、地元大阪初の大規模市民マラソンである「第1回大阪マラソン」OSAKA MARATHON 2011「」が開かれ、100万人の応援を背に、約3万人のランナーが大阪を駆け抜けた。ボランティア1万人が運営を支え、大阪の新しい「祭り」が盛大に産声をあげた。

「マラソンを通じて大阪の街を元気に」の趣旨に賛同し、

協賛団体として大会運営に協力する関西大学は、「わたしたちのまち、大阪とともに」をテーマにして、マラソン開催前から大阪の魅力を紹介する一般市民向け公開講座や、シンポジウム、スポーツボランティアは地域を変えられるか、マラソン講座などを開催し、教育・研究機関ならではの取り組みで大阪マラソンを盛り上げてきた。

当日は、学生・教職員19人がランナーで出走。同約400人の給水ボランティアは、ランナーが一斉に勢いよく押し寄せる5km地点を担当した。3年次生・清水聡君は、関西大学から大阪や日本を元気にしたいと、機敏な動きで、声援と水を次々に手渡していた。

さらに、23人の語学ボランティアのうち、英語を担当した4年次生の西谷翔君は「Thank you!と言われ、温かい気持ちになれた」と、約1千人の外国人ランナーに安心を与えた感想を述べていた。

中央公会堂前では応援団が、大阪西南環境事業センター前では文化会、同好会の諸



理工学研究科・理工系3学部が

近隣アジア諸国の

大学との国際シンポジウムを開催

8月24日から26日の3日間、関西大学と国際交流協定を締結している近隣アジア諸国の大学と、関西大学理工学研究科・関西大学理工系3学部と近隣アジア諸国の大学との国際シンポジウムを開催した。参加大学は、タイ(チュロンコン大学、タマサート大学)、マレーシア(マレーシア科学大学)、台湾(正修科技大学)、そして協定校ではないが理工学研究科教員の共同研究者が韓国(釜慶国立大学校、建国大学校)から参加された。発表人数は海外からは教員25人、大学院生21人、関西大学

君が多彩な応援イベントで、ランナー、観客を巻き込んだ「祭り」を演出していた。

人間健康学部部の杉本厚夫教授を中心とした学術調査ではランナーはじめ、ボランティア、観客の意識調査を調査しており、マラソンがもたらす効果について、現在検証中だ。

このマラソンに関わった多くの関大人の「考動」が、大阪、そして日本の元気につながることを期待している。

(広報室広報課)

からは教員21人、大学院生69人、さらに関西大学からの聴衆を合わせると参加者総数は延べ約500人であった。

8月24日にウエルカムパーティを行い、25日にオープニングセレモニー、社会安全学部の小澤守教授による「福島第一原発事故」に関する特別講演を行った後、「化学・マテリアルサイエンス」、「ライフサイエンス」、「情報技術」、「土木工学」、「エコロジカル・インタフェースデザイン」の5つのテーマについて実質的なシンポジウムに入った。その際、各分野の専門性を考慮して5

ネット契約で保険料を節約！まずはお見積から。

自動車保険 **そんぽ24**

<http://www.union-sv.com/car>

海外旅行保険 **OFF**

損保ジャパン

<http://www.union-sv.com/travel>

関西大学生協グループ

保険代理店事業部・事務機器事業部
総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社・豊中営業所 豊中市新千里北町2-20-8/吹田営業所 吹田市佐井寺4-43-8/関大支店 吹田市千里山東3-10-1 関大生協内 TEL0120-50-5421



つのテーマ別に会場を分け同時進行とした。各会場での発表は、主に教員が行い、発表論文に対して活発な討論が行われた。

本国際シンポジウムを総括して、研究発表だけでなく、ウエルカムパーティ、ミキサー、エクスカーション等を通じて、協定校の教員間、大学院生間との懇親が深まったとともに、今後の共同研究の橋渡しができたと言える。

また、大学院生はポスター発表を原則とし、さらに26日にはパワーポイントを用いてシヨートスピーチ（持ち時間5分）も行った。彼らにとりオフィシャルな場での英語によるプレゼンテーションを経験

できたことは貴重な経験だったと言える。さらに、ホスト役としてシンポジウムの運営補助、来訪大学の大学院生への便宜供与や交流などを行う

ことで国際的な研究討論の場を経験することができたことから、本国際シンポジウムはより広い視野での研究を企画・実行する研究力を養い、今後の教育研究において、将来さらに国際的研究感覚のある研究者への素養を身につける機会を提供できた。

関西大学科学技術振興会より、ご配慮をいただきましたことを、この紙面をお借りし感謝申し上げます。

（理工学研究科・システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部）

刀匠の河内國平氏が 作刀資料一式を寄贈

校友の刀匠河内國平氏から、校友会副会長の田中義昭氏を介して鍛刀資料15点が寄贈されることになり、一部が10月18日に運び込まれた。

河内氏は、昭和41年法学部卒業後、人間国宝宮入昭平氏（後の行平）から鍛刀術「相州伝」、人間国宝隅谷正峯氏に「備前伝」を伝習された。47年、奈良県東吉野村平野に鍛刀場を設立し、62年には無鑑査認定を受ける。平成7年、刀剣製作古法「大和伝」を修得して第一人者となり、17年、奈良県無形文化財保持者となられた。

文化庁美術刀剣刀匠技術保存研修会講師、刀職技能訓練講習会講師、短刀小品展審査委員などを務める。また本学在学中から、末永雅雄名誉教授に指導を受けた縁で、奈良県立橿原考古学研究所で藤の木古墳出土刀剣や、石上神宮の七支刀などの復元研究を担当された。

この度、河内氏から寄贈される資料には、鍛刀場の火に風を送る鞆（ふいこ）、砂鉄や玉鋼（たまはがね）、鋼薄板、鋼小割りを梃子皿に重ねて鍛える下鍛えの段階、鋼を折り



返す上鍛え、鍛打で心鉄と皮鉄を鍛える作りこみ、火力と槌で棒状に伸ばす沸かし延べ、茎（なか）や切先を成形する素延べ、金槌で刃を打ちだす火造りの、鍛刀場で執り行われる鍛刀作業のすべての段階が含まれている。河内氏が鍛刀場で使う道具類も、続いて寄贈いただく予定で、本学博物館に、河内國平氏の鍛刀場を再現することが可能となった。

今回寄贈いただく鍛刀資料は、日本刀という日本文化の神髄を生み出す工程をまさに眼前にできるものであり、本学にとって貴重な資料となる。博物館では、河内氏の鍛刀資料を貴重な文化財として保管し、教育研究に資するように活用していきたいと考えている。

（博物館事務室）

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO- 9001



ISO-14001



OHSAS-18001



小柳行央さんが創立者の一人 鶴見守義の大礼服を大学に寄贈

関西大学創立者の一人である鶴見守義の大礼服が10月21日、所蔵者の小柳行央さん（東京都府中市）から年史編集室に寄贈された。

今回寄贈されたのは勅任文官の大礼服で、羽飾りのついた帽子、金糸による57の桐の節章などが随所に刺繍された上着とズボン、襟の白カラーと白蝶ネクタイが、「M・T・」と大きくインシヤルの刻まれた本皮製の専用トランクに収められている。

40年ほど前、小柳さんのご尊父・鹿蔵さん（故人）が古物商から購入し、誰のものか分からないまま、同家で大切に保管されてきた。東京都の職



羽飾りのついた帽子と金糸の刺繍が豪華な大礼服

守義のものと判断し、年史編集室へ寄贈の連絡をとったという。

「関西大学の足跡を辿るものの一つになれば幸い。今後は大学で大切に保管してもらい、記念事業の折など、創立者を偲ぶ機会には展示をして、大学の関係者の方たちに見てもらえたらうれしい」と小柳さんは語っている。

また、大礼服寄贈の席には鶴見守義の孫である鶴見撰子さんも同席。祖父の形見の品である勲二等瑞宝章を持参して大礼服に対面、故人の面影を偲んだ。「戦争で被災したため、祖父の遺品で残っているのは勲章くらい。大礼服が残っているとは思いませんでした。志を高く持った若い時代の祖父に会えたような気がする」と感激していた。

（年史編集室・熊博毅）



鶴見守義の大礼服を前に、小柳行央さん（左）と勲二等瑞宝章を手にする鶴見撰子さん

関大防災Day2011 学生ほか約1万人が参加

10月4日、千里山キャンパスで学生・教職員・近隣住民約1万人が参加して地震避難訓練・関大防災Day2011「広げ！みんなの安全・安心」が実施された。

昨年に続いて3回目となり、訓練では、授業中の午前11時40分にマグニチュード7・6の直下型地震が発生したとの想定で、学生たちは教員の指示で、キャンパス内に設けられた避難場所に避難。係員から学生番号、氏名、けがの有無、今後の移動先などを記入する「安全確認シート」を受け取り、友だちと相談しながら、一つひとつ記入した。職員も同じように、避難し、「安全確



認シート」に記入した。

また、避難訓練のほか、総合図書館前から凜風館に至る通路では、ボランティアセンター学生スタッフによる「焚き出し体験」、企業の「非常食試食会」、防災グッズの展示や地震体験コーナー、消火栓・消火器体験など、防災に関わる様々なイベントも合わせて行われた。



春学期卒業式と 秋学期入学式を挙行

9月16日、午前10時から100周年記念会館で学部23年度春学期卒業式が挙行され、169人が卒業した。

合わせて大学院学位記授与式も執り行われ、大学院博士課程前期課程修了生17人、専門職学位課程修了生35人、大学院博士課程後期課程修了生



1月募集もある。

チュラロンコン大学内に バンコクオフィスを開設

関西大学では、協定大学のタイ王国・チュラロンコン大学内に、10月1日付でバンコクオフィスを開設した。

今年4月に完成した同大学の石油・石油化学研究科リサーチサービスセンターの6階フロアの一部を無償提供することの提案を受け、「留学生別科をはじめとする外国人留学生の募集活動、タイ王国内における協定大学等との交流、国際シンポジウム等の開催、校友との連携拠点として有益である」として開設したのも。

また、午後からは同じく100周年記念会館で、23年度秋学期入学式が行われ、総合情報学部4人、大学院文学研究科3人、理工学研究科2人、東アジア文化研究科6人の入学生が新たな学びのスタートを切った。

SF入試（9月募集） 23種目119人が合格

2012年度SF入試（9月募集）の合格者が9月29日に発表され、体育23種目に119人が合格した。

昨年に比べ種目で8人、人数で19人少なく、10人以上の種目はサッカーと陸上競技だけだった。なお、SF入試は若干名の

ガジャマダ大学と 学生交換協定を締結

関西大学とインドネシア・ガジャマダ大学は、学生交換に関する協定を締結することで合意に達し、9月15日に協定の調印式を行った。



同大学は、インドネシア最古かつ最大の州立大学で、18学部に約5万5千人の学生が学んでいる。

今回の協定により、関西大学の海外協定校は60校となった。なお、インドネシアの大学とは初の協定締結。

KUBIC2011 高校・大学優勝者決定

今年で6回目となる関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC2011の本選会が10月1日に開催され、入賞が決まった。

合計986件の応募の中から、本選会出場を果たした計9組（高校の部4組、大学の部5組）の発表者による熱のこもったプレゼンテーションが行われ、高校の部では私立甲南高等学校3年川口祐生さんの「いきいきアグリホーム」、



大学の部では関西大学商学部の川上智子教授プレゼミ・フーム班（4人）による「LIVE・FARM」見える！食べる！Japan野菜！」が優勝した。

なお、大学の部準優勝は、同じく商学部川上教授プレゼミ・チーム（4人）による「Ecook（エコック）」だった。

「紫いもあん＆ホイップ」 山崎製パンと開発し発売

関西大学と山崎製パン（株）共同企画のランチパック「紫いもあん＆ホイップ」が、11月1日に発売された。

山崎製パンの代表的商品「ランチパック」の新商品を、関西4大学の学生が開発するという産学連携プログラムで、関西大学では、商学部の荒木孝治教授のゼミ生がプログラムに参加し、試行錯誤のうえ



作り上げたもの。共同開発したランチパックは、関西大学のスクールカラー「紫紺」をイメージした紫いもあんに、求肥とホイップクリームが入った商品で、関西一円のコンビニや学内の各売店で購入することができる。希望小売価格は税込157円（生協売店では、組合員価格で販売）。

制御盤配電盤製作・計装、電気工事



共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所 及工場 〒177-0033 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyoei-d.co.jp>

関 大 人 事

【新役職者】10月1日付（敬称略）
 （商学部）▼副学部長 中島道靖教授、（政策創造学部）▼学部長 後藤元伸教授▼副学部長 小西秀樹教授、河崎信樹准教授、（大学院ガバナンス研究科）▼研究科長 後藤元伸教授、（経済・政治研究所）▼所長 水野一郎商学部教授、（教育推進）▼教育開発支援センター長 田中俊也教授▼同副センター長 山本敏幸教授▼教職支援センタ

ー長 山本登朗教授▼同副センター長 広瀬義徳准教授

【新任教員】（カッコ内は専門）
 （総合情報学部）教授 浅野晃（画像科学・感性科学）9月1日付、（大学院法務研究科）教授 三浦潤（民事実務）9月21日付

欠員補充の理事に 海蔵寺浩氏が就任

石川昌司前理事の死去に伴う新理事の選任について、10月27日開催の理事選考委員会

で海蔵寺浩氏（昭32学商）が選出された。任期は24年9月末まで。

欠員補充の校友評議員 北嶋弘一総務部長就任

学校法人関西大学寄附行為第25条第1項第2号（校友）の評議員の欠員補充について評議員選考委員会が開かれ、10月27日付で、北嶋弘一氏（昭44M工）校友会総務部長）が就任した。任期は24年9月末まで。

織田信成、GPシリーズ中国で2位 高橋大輔はGPシリーズカナダで3位

フィギュアスケートのグランプリシリーズ（GP）第3戦・中国杯は11月5日、上海で男子フリースケートが行われ、ショートプログラム（SP）4位だった織田信成（M文2）が149・46点、合計227・11点で総合2位に入った。

織田は、トリプルフリップで転倒したものの、トリプルアクセル2本を含め、そのほかのジャンプを全て成功させてフリーで2位になり、総合でも2位に入賞した。

一方、GPシリーズ第2戦・スケートカナダに出場した高橋大輔（M文2）は、10月

28日にトロント近郊のミシシピガで行われたSPで2位につけたものの、翌日のフリーでは4回転ジャンプが決まらず、後半のトリプルアクセルも着氷が乱れるなどで一つ順位を落とし3位となった。

射撃部女子、全日で2位 男子は3位と順位上げる

10月7～10日に大阪府の能勢射撃場で行われた全日本学生ライフル射撃選手権大会で射撃部女子は、総合団体で準優勝。男子は総合団体で3位に入賞した。



3連覇のかかった女子は、強豪明治大に僅か6点差の2843点で敗れ、3連覇はならなかった。

一方、男子は昨年の5位から二つ順位を上げ3位に入賞。種目別団体（AR10mS60）では、中央大、明治大の強豪を押え、優勝を飾った。また

個人でも田邊伊織（化3）がAR10mS60で588点をあげ、見事個人優勝を果たした。これで5大会の全日程を終了したが、今年を総括すると明治大の関大に対するリベンジ精神と練習量の多さに負けずに感じている。新メンバーで臨む来年は、特に今大会の実に悔しい思いを忘れることなく、関東の強豪大学へのリベンジをやってやろうと思っている。（監督 女川 隆）

弓道部男子が 全日団体に準優勝

8月9～12日に兵庫県グリインアリーナ神戸で行われた第59回全日本学生弓道選手権大会男子団体に、体育会弓道部が準優勝を果たした。

緊張からか、予選をかるう



（スポーツ関係の写真は全て、関大スポート提供）

じて通過した関大は、決勝トナメントでは実力を発揮。準決勝では強豪日大を16中対15中の僅差で下し、明大との決勝へ。決勝もお互いに譲らず、15中対15中となり、同中競射にもつれ込んだが、関大7中、明大9中でおしくも準優勝に終わった。

女子百mHで伊藤 走高跳で松本が優勝

9月9～11日に熊本県民総合運動公園陸上競技場で行われた天皇賜盃第80回日本学生陸上競技対校選手権大会で、陸上競技部の伊藤愛里（社4）が女子100mハードルで、松本真由子（社4）が女子走高跳で、それぞれ初優勝を果たした。



なぎなた部が 全日で3位入賞

なぎなた部は、8月7日に
福井県立武道館で行われた第
50回全日本学生選手権大会
で、3位に入賞した。

準決勝で、6月の関西選手
権で敗北した神戸松陰大と対
戦、0-2(3分)で敗れた
が、3位決定戦では日体大に
0-0ながら判定勝ちし、3
位に入賞した。



柔道部が関西で躍進 66kg級で牧が初優勝飾る

9月4日に兵庫県立武道館
で行われた関西学生柔道体重
別選手権大会で、柔道部の牧
良介(文3)が男子66kg級で、
関西選手権では関大勢初の優
勝を果たした。

また、西清也(政策4)が男
子90kg級で準優勝、寺本裕基
(人2)が男子81kg級で準優勝



を果たした。

3選手は、全日本学生体重
別選手権大会および講道館杯に
出場する。講道館杯とは、来
年のロンドンオリンピックの選考
会であり、上位進出し全日本
強化選手に選ばれ、2月の国
際大会で好成績を残せばオリ
ンピック出場の可能性がある。

ハンドボール男子 西日本で4年ぶりV

8月8-12日に愛知県のス
カイホール豊田で行われた第
50回西日本学生ハンドボール
選手権大会で、ハンドボール
部男子は、準決勝では春季リ
ーグで逆転負けを喫した大体



大を30-26で下し、リベンジ
を果たすと、決勝でも昨年の
インカレで惜敗した中京大を
28-27の僅差で下し、見事リ
ベンジを果たして4年ぶりの
優勝を飾った。

また、ハンドボール部女子
も健闘を見せ、第41回西日本
学生選手権大会で、2年連続
の3位に入賞した。

重量女子・山本 西日本で3連覇達成

重量挙げ部の山本優子(文3)
は、7月8日に大阪府・びび
きのコロシアムで行われた第
11回西日本学生女子選手権大
会58kg級で、スナッチ80kg、
ジャーク96kg、トータル17
6kgと、いずれも大会新記録
を樹立し、大会3連覇を達成
した。



マンドリン独奏コンで 北野修平が2位に入賞

10月15日に群馬県前橋市に
て開催された「マンドリンの
まち前橋」朔太郎音楽祭20

1第2回全国マンドリン独
奏コンクールで、文化会マン
ドリン倶楽部の北野修平(商
4)が第2位に入賞した。

北陽高・陸上部男子が 3年連続で都大路出場

男子第62回・女子第23回全
国高等学校駅伝競走大会大阪
府予選会が11月3日、淀川河
川敷コース(42・195km)
で行われ、北陽高校陸上競技
部男子が2時間11分42秒で
3連覇を果たした。

この結果、12月25日(日)に



京都市西京極陸上競技場付設
マラソンコースで行われる男
子第62回全国高等学校駅伝競
走大会への出場が決定した。

また、11月20日(日)に滋賀
県東近江市布引運動公園で行
われる第62回近畿高等学校駅
伝競走大会への出場権も、24
年連続で獲得している。

黒津忠夫前漕艇部監督が 大阪体育協会運営功労賞受賞

黒津忠夫前漕艇部監督(昭39学文)が、監督30年の実績と
大阪体育協会での運営功労と、加盟団体の発展並びに選手
指導育成に寄与した功績により、2011年度スポーツ運営
功労賞を受賞された。

先般、大阪市都島区の「市公館」で表彰式が行われ、黒津
氏は、「2001年度大阪体育協会の代表として秩父宮杯を



授与されて以来10年が経ちましたが、
30年間に及ぶ関西大学体育会漕艇部
監督を今年3月末に退任し、大阪体
育協会が、改めてその評価として大阪
スポーツ界の代表として認めて下さっ
たことは身に余る光栄であり、30年の
苦勞がどこかに飛んで行ったようで、
誠にありがたいことです」と喜びを語っ
ていた。(漕艇部OB会幹事長 田村英明)

株式会社 **Em Road** ^{Marriage Road}

コンピューターを一切使わず、
お一人お一人丁寧にお世話させて
いただいております。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように
同一のアドバイザーが担当)
- 4 自社会員のための構成
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護
の為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視
の安心料金システム)



新聞・テレビで

“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
0120-4122-46



大阪

ジオグランデ梅田 最上階



神戸

神戸国際会館19F



京都

オフィスワン四条烏丸6F

直
営
店

- 大阪** 大阪市北区茶屋町8番21号 ジオグランデ梅田 3101
- 神戸** 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
- 京都** 京都市下京区室町通綾小路上的る 鶏鉾町480番地
オフィス・ワン四条烏丸6F

携帯サイト **m-road.info** エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日

私どもに届いたお手紙です。

エムロードの皆様、本当にお世話になりました。

お見合いをしている間は期待や不安が入り混じった気持ちで、常にハラハラドキドキしているような感じていましたが、とても楽しく過ごさせていただきました。結婚についてだけでなく、いろんなことを真剣に考え、人間的にも成長できたんじゃないかなと思います。本当にありがとうございました。(女性記)

京都大学大学院工学研究科卒 31歳 男性

大阪大学法学部卒 法人職員 26歳 女性

創業21年、5,500組を超える成婚実績、
コンピューターを一切使わず、すべててづくり
100%の誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。
その為、他社との連携は一切いたしていません。

オース!ごきげんさん。

連載 40



▲上海万博舞台出演者の皆さんと

現代美術家の浦大典です。私は関大社会学部を2010年に卒業し、現代美術の制作活動と芸術文化に関わる社会活動事業をしています。昨年は上海万博の日本館にも舞台出演し、麗しき光源氏の末裔達、HIRONORI.URAの世界をプロデュースしました。人と人が言葉の壁を超え、心と心で繋がりがながら何かを作り上げていくことを上海で深く体感しました。

関大在学中には、命あるものが共に力を合わせ生きていくことをテーマにした展覧会「共に生きる展」を川西市と宝塚市で主催開催しました。裸の大將で有名な山下清画伯や世界的な名作品の展覧もあり、自分の想定をはるかに超えたスケールの展覧会になりました。大きな反響があり現在も国内外から開催のオファーが寄せられています。展覧会の開催は自分にとってまさに命がけ。会場の模型制作に始まり、資金計画、協賛や後援者との話し合い、出展者との打ち合わせ、会場設置、会場案内などで多忙を極めますが、皆様に喜んでもらえるよう頑張りたいと思います。

作品やイベントを通じて人と人が理解し合い、障害の有無に関係なく繋がる喜びをその場で感じてもらうことが自分の夢でありライフワークです。

世界を繋ぐ芸術の翼に

〈上〉 浦 大典

イタリア旅行に招待されました。町全体が芸術一色になるイタリア。同じ時期に現地でパフォーマンスをする障害者の皆さんと一緒に飛行機に乗り込みました。現地まで飛行機で何時間もかかり、途中で体調を崩された方もいました。健康な人でもきついのに、障害があつたり体調が不安定な方には厳しい旅です。

しかし、励ましあい、フランスやオランダ経由の旅を乗り越え、イタリアにたどり着きました。別世界の美しい水

中都市ベネチア。世界中から集まった芸術家が町中に色鮮やかな飾りつけをしている、まさに芸術の御伽の国でした。一緒に日本より旅をしてきた障害を持つ方がパフォーマンスをすると、会場の世界中の観客が割れんばかりの大拍手をしてくださいました。私は感動で胸がいっぱいになり泣きました。芸術というものは、国、人種、言葉、差別などを超えて心を結ぶ素晴らしいものであるという事に気付きました。大学時代にも、テレビで中国全土に放送されるチャリティーの大きな舞台を北京で経験させて頂き、さりをひるばの皆さんと一緒に出演し、旗パフォーマーとして中国の観客から拍手喝采を受けました。

ギター演奏やコンサート、オブジェ

浦 大典 (HIRONORI URA)

現代美術家。芸術文化社会活動家。「共に生きる展」プロジェクト代表

1987年、宝塚市生まれ。2010年社会学部社会学科卒業
幼少の頃より絵画を中心に制作。芸術文化に関わる社会活動を通して世界各国、日本各地で意欲的に交流をはかる。芸術と福祉を融合した障害者芸術の若き強力な応援者でもある。

2004年兵庫県知事賞、AUベネチアビエンナーレ招待賞W受賞をはじめ、08年滋賀県知事賞、北京理工大学設計芸術学院長賞(中国)、11年朝日新聞社賞等、多くの美術展で受賞。

アトリエHIRONORI URA
665-0816 宝塚市平井4-11-13 (電話0797-80-3878)
mailto: babkd114@jttk.zaq.ne.jp
babkd114@jttk.zaq.ne.jp

への挑戦、展覧会開催、チャリティパフォーマンスの企画など、最近の私も新たな表現方法に日々挑戦をしています。



▲作品のじゅうたんと絵と番傘

北から 南から 《各地支部だより》

木村支部長から松本新支部長へバトン 役員の呼びかけで最多の33会員が出席

23年度北海道支部（木村勇市支部長）総会は、9月22日に来賓として楠見晴重学長、森本靖一郎理事・相談役他8人の学校関係者をお招きし、京王プラザホテルで開催された。過去、これほど多くの学校関係者が出席された支部総会があったであろうか。母校より一番遠くにある支部として、学校の活動状況をつぶさに拝聴できる機会を得



られたことは、我々校友に大きな勇気と元気を頂いた。ご来賓の皆様には感謝を申し上げたく思う。

今年度の総会は、40数年の長きにわたり務められた木村支部長が相談役に、新支部長には松本陽一氏がそれぞれ就任された。また、支部の組織強化を目指す新役員が満場一致で選出され、木村前支部長に花束が贈られ労をねぎらった後、松本新支部長より組織強化を重点とする力強い就任挨拶があった。

今回の総会招集に当たっては、全道で450人の卒業生の内、札幌在住者を重点に、役員が手分けをして出席されるよう要請した結果、過去最大の33人の方々が出席をして下さった。中でも、初参加の年輩者や卒業年次が若い方・女性校友の出席者も多数おられ、盛り上がりのある総会となった。

最後に、木村前支部長より支部の活動基金として過分な提供

を頂いたことが報告された。

（広報担当 大坊健二）
（司法書士・石橋孝彦事務所）
011-861-1281

天然露天風呂に大満足 最後は恒例のカラオケ

暑さが残る9月17日、千葉支部（神田万久支部長・昭45工）懇親会が行われ17人の校友が参加した。毎年この時期は「納涼屋形船の集い」を実施していたが、今年は趣向を変え、千葉県浦安市にあるスーパー銭湯「大江戸温泉物語、浦安万華郷」に集まった。スーパー銭湯といえども、天然温泉あり、いろいろな露天風呂を思う存分楽しめる場所である。

汗を十分流した校友は宴会場に駆けつけて宴会のはじまり、はじまり…。

全員喉がからからなのに乾杯



はお預け（千葉支部は紳士淑女の集まり、誰一人文句はなし）。支部長の長い挨拶。続いて川越隆（昭28法）大先輩の発声による乾杯。

酔いが回らない頃合を見て写真同好会、江口昌成幹事（昭39工）による記念撮影会。さらに川越隆校友から働き盛りの喜多良文（平6経）校友まで17人全員の自己紹介を兼ねて近況報告を行った。

次はお楽しみのビンゴ。これまで幹事役ばかりでゲームに参加できなかった青山誠（昭61

商）校友も商品を買ってゲットしにこにこ…。紅一点、大平聡子（昭62文）校友の心配りでビンゴ商品をゲットできなかった人も参加賞でにっこり。

最後は恒例のカラオケ、これを聞かないと帰れない。木原國男（昭31商）校友による「フランクシナトラ張りの「マイウェイ」に聞きほれ、余韻を残しながらお開き…。幸せな気分の日となった。（広報 豊田稔・昭45工）（アイズ・オブ・マインド）03-3662-7710

校友の白木渡香川大教授が講演 オカリナと二胡でミニコンサート

香川支部（川北文雄支部長）の総会が10月15日、高松市の全日空ホテルクレメント高松であり、総勢103人（うち平成卒31人）が、確かめよう青春、深めよう友情、高めよう母校愛を合言葉に旧交を温めた。

今年は、香川オカリナの会の吉岡令子会長らによるオカリナと二胡のミニコンサートもあり、学歌や「青春時代」などの生演奏でムードを盛り上げ、気分は一気に青春を謳歌した学生時代へ。また、香川大危機管理研究センター長で同大工学部教授の白木渡校友（昭47工）が、「東南海・南海地震に備えて」と題して記念講演を行った。

総会には高松市出身の上原洋允理



組織部から「地域支部活性化プロジェクト」の報告

早くも2支部復活、1支部活性化へ

本年度、組織部の活性化プロジェクトの具体的な活動方針として、毎年7月に開催していた全国組織代表者会議に代わり、組織部15人を大阪府下を中心に3グループに分け、36支部の皆さまに直接訪問を計画しました。

結果、10月までに多くの支部の役員会、幹事会に出席させていただき、各支部の状況がわかり、組織部で具体的な活性化の方針を検討させていただいています。

お陰さまで、今年中に再建復活支部総会開催が2支部（大東支部・10月22日、高石支部・11月5日）活性化支部が1支部（和泉支部・6月4日）と活性化プロジェクトも成果をあげつつあります。

また、来期に向け多くの支部から積極的に組織部役員と打ち合わせしたいとの希望が寄せられています。今後も活性化に向け、各支部のご要望などを一緒に検討させていただきますのでご連絡をお願いいたします。

今回は、大東支部復活総会までの組織部の取り組みと復活総会の模様を報告させていただきます。

なお、本部の資料では、大東支部は昭和34年に創設されていますが、具体的活動がなく今回が52年ぶりの総会となりました。

(1) 一昨年、組織部からのアンケートに、「本部の協力を期待する」との回答があり、4月15日に清水正義支部長代行へ電話連絡。再建に強い意欲を示され、組織部として検討を始める。

(2) 7月12日、関大不動産鑑定士クラブ会長小川哲男氏より、協力したい旨の連絡があり支援の協議を始める。

(3) 7月23日、支部として第1回世話人会を開催。10月に再建総会開催を決定。復活体制や近隣支部への協力依頼を検討。結果報告が本部にあり、本部からの援助、提供資料などを説明、確認した。

(4) 9月3日、幹事会開催 清水、小川氏ら5人が出席。組織部から渡邊、田中が出向き、 在住者リストの提供、再建支部助成金10万円の補助、 再建総会案内通信費(在住校友数×130円)の補助、 機関紙「関大」9月号に再建総会開催案内を同封、などを確認。その後、総会案内状、役員候補者、当日日程・役割分担など具体的な検討を行った。

以後、支部では世話人が準備を進め、復活総会開催に備えた。

(組織部長 渡邊泰之)

大東支部 52年ぶりの復活総会開く 清水新支部長が組織部の尽力に謝意

10月22日(土)午後6時から大東市民会館4階大会議室で復活総会が開催された。大東支部会員29人が出席。近隣支部からも交野、守口、門真、枚方、寝屋川の各支部の代表9人がお祝いに駆けつけた。本部からの出席は渡邊泰之組織部長と田中義信副部長。

議事は、清水正義氏が支部長代行として、第1号議案：役員選任、第2号議案：会則の一部改正、第3号議案：その他として進められた。

役員選任では、支部長に清水正義氏(昭31経)、副支部長に小川哲男氏(昭48法)、北田五十一氏(昭49法)の2氏、幹事長には東村正剛氏(平2工)が満場一致で選任され、その他役員も選任された。新支部長の清水氏は、総会開催に至るまでの苦労話を交えた経緯を語られ、また、校友会組織部の尽力にも謝意を述べられた。

第2部講演会は、文学部教授・数田貫先生による講演で、「関西大学は、泊園書院を源流とするもので、186年の歴史があり、これが学歌にある長き歴史である」と強く語りかけられ、拍手喝采であった。

さらに、第3部懇親会では、渡邊組織部長が来賓代表で挨拶し、現在の校友会本部の方針、活動内容、本学の状況等を熱く報告した。アトラクションとしてチアガールのクレアーズによる演技があり、会場は大変盛り上がった。

約3時間に亘る総会の締めとして、全員輪となって逍遙歌を歌い、閉会の辞で、小川副支部長は「近い将来、地域支部総会でベストスリーに数えられる支部に育て上げたい」と抱負を述べられた。

校友会本部としては、大東支部が、今後、年1回の総会を継続開催されることを強く望む次第である。

(組織部副部長 田中義信)



理事長、田中義昭校友会副会長、四国・岡山の各支部代表ら7人が来賓として出席。

初めに川北支部長が「ふるさとと母校関大のために何ができるか、一人一人がよく考え、行動に移そう。それが支部のモットーである。元氣な香川支部、考動力あふれる関大。精神につながる」と挨拶。上原理事長から、祝辞を兼ね、発展する関大の近況を紹介いただいた。

議事では、会務・会計報告があり、東日本大震災の被災者および被災在校生に義援金を贈ったことなどが報告された。

懇親会は、女性校友と初参加校友のスピーチのほか、総会当日に行われた香川支部秀麗会ゴルフコンペの成績発表があり、和やかに交流。池田茂校友（平5経、第70代応援団副団長）のリードで逍遙歌を斉唱し、全員で万歳三唱して締めくくった。

4年ぶり会員名簿を発行

香川支部は8月に会員名簿を発行し、約1800人の会員に送付した。名簿は1975（昭和50）年の初版以来、6冊目。1999（平成11）年からは4年に一度発行している。

今回は25人の名簿編集委員が中心となって、ボランティアで準備。協賛広告と賛助金は、計140社・団体から約300万



円が寄せられた。支部では名簿の印刷・郵送経費を除き、支部活動費と社会貢献のための活動費に充てる。

川北支部長は「厳しい経済情勢の中、協賛・賛助いただいた関係者のみなさんに感謝するとともに、支部活動を通じて香川が元気になるよう、大切にしていきたい」と話している。

（山下和彦）
（金星タクシー・川崎有二＝087-821-7070）
<http://www.chyuo-net.com/koyukai/>

徳重忠男会長を再選

親睦の場を増やす企画を

第60回の大分千里会（徳重忠男会長・昭38法）の総会と懇親会が10月22日大分全日空ホテルオアシスタワーで行われた。

総会開始前に学歌を斉唱、徳重会長の挨拶の後、来賓（校友会本部2人、福岡千里会2人、佐賀千里会1人、熊本支部1



人）の紹介があり、その後、議事に入った。

今年は、役員改選の年で、徳重会長が再任された。平成23年度の活動計画では、ゴルフの九州大会、関関同立近大5大学での大会、新年会の企画を発表し、多くの校友の参加を呼びかけた。

総会後、記念撮影をはさみ、懇親会が始まった。最初に来賓の方に挨拶と近況をお話いただいた。今年は、昭和38年卒から平成23年卒のたいへん若い方まで幅広い年代の集まりとなった。

お互いの名札を見て、偶然に卒業年、学部が一緒でそこから青春時代の話に花が咲いた場面も。いつになく華やかで活気あふれる会となっていた。
会の終わりに全員が輪になり

逍遙歌を合唱、締めには佐藤修さん（昭38商）の音頭で万歳を三唱した。

例年、30名前後の出席があるが、なんと40～50人くらいまで増やして行き、校友の皆さんの親睦の場が増えるように企画を考えていけたらと思う。できるだけ多くの校友の参加をお待ちしております。

（幹事 竹村浩太郎・平2法）
（徳重忠男＝0877-2718700）

「九州は一つ」結束強し

1月に全支部役員研修会

「九州は一つ」のテーマの下、今年も7月から10月で8支部の総会を終えた。

毎年、地方教育懇談会開催日程に合わせて調整し、各支部の協力を得てからの開催である。各支部共、校友会員の動員には苦心しながらも、各々創意工夫を凝らして盛り上げを図っており、現役生、新卒生等、平成生まれの校友たちの出席が増えていく中、昭和生まれの先輩たちの減少が気にかかる。

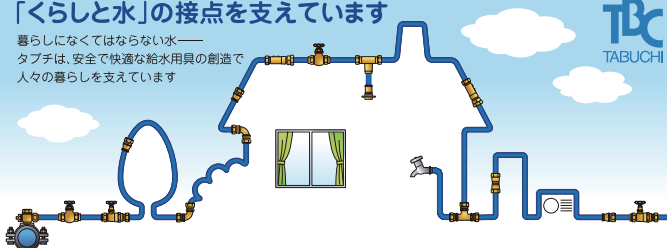
特筆すべきは、近隣支部への相互出席が増えたことであり、これも15回を終えた九州地区支部対抗ゴルフ大会での連帯の賜と云える。11月の沖縄で全て終了するので、これまでの支部運営と総会の反省、今後の支部活



YKK AP株式会社 ビル建材第一事業部 大阪支店
大阪府大阪市中央区谷町4-8-7 TEL.06-6947-4141 www.ykkap.co.jp

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくはない水——
タブチは、安全で快適な給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています



給水用具の設計・開発・製造
株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区山崎南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210 <http://www.tabuchi.co.jp/>

性化へ向けての方策について、来年1月21日(土)午後2時から福岡・平和楼天神本店において九州地区全支部参加による「役員研修会」を開催し、母校、校友会発展のため結束することになっている。

(九州地区支部連合会会長 花田正利)

(花田正利) 090-3605-8481

昨秋叙勲の2氏にお祝い「卒業50年御祝」も5氏に

第72回尼崎支部、大角教雄支部長(総会が、9月10日に都ホテルニューアルカイクで、来賓・支部校友95人が出席のもと開催された。

1部総会では、田中正喜幹事長の司会で、学歌斉唱の後、物故校友並びに東日本大震災被災者に黙祷を捧げた。引き続き大角支部長が多数の総会出席者に「今回、大災害を受けた被災地の一刻も早い復興を支え合いの精神で目指そう」と挨拶し、議事に入った。事業・会計・監査等の報告並びに事業計画・予算案がおのおの承認された。

続いて、昨年秋に叙勲受章された伊吹昭(昭31法)、片山省三(昭35法)両校友の受章を改めて披露し、花束の贈呈が行われた。

2部に入り、山田実副幹事長

の司会、河本享副支部長の開会宣言のあと来賓が紹介され、古川好男校友会副会長が来賓を代表し、大学の近況を文武両面に亘り詳しく披露されるとともに、支部活性化のための支援を行う等の挨拶をされた。

続いて、支部顧問である冬柴鐵三元国土交通相が「関大は元気で、学術文化においても世界に発信している、私も捲土重来を期す」と挨拶。そのあと今回尼崎市議会副議長に就任となった真鍋修司氏(昭63法)にお祝いの花束が贈呈され、「議員生活14年、日頃の支部校友の皆さんのおかげであり今後もご指導願う」と挨拶。

懇親会では、野草信次尼崎市役所秀麗会会長が、「仲間との絆を大切に、関大を盛り上げ、一層の連携を深めて参りましょう」との乾杯発声で始まった。懇親の輪は、見事な応援団演奏、演



奏が始まるや瞬く間に各テーブルに拡がっていった。

和やかな雰囲気の中、若手校友の足立侑里恵さん(平23経)が紹介され、「精神的に落ち込んだ時に校友会のお陰で乗り越える事ができた。この経験を人生のステップの糧にさせていただきます」と挨拶。

続いては「卒業50年の御祝」が行われ、大西宰志・阪本吉成・中井康勝・中村恒男・寺井清彦の5氏に記念品が贈呈され、代表で中井康勝氏が「若い人にも校友会のこの雰囲気味わっていたら、強い関大目指し全員で校友会を応援しよう」と力強いお礼の言葉で盛り上がる等、時間の経つのも忘れて懇親会は進行していった。

終わりに近づき、富田龍郎第89代団長による逍遙歌一同が輪になって歌い、最後に重田守康副支部長の熱い思いの込められた謝辞で閉会となった。

(広報部 松本勝憲)
(田中正喜) 06-6499-1948

活性化への取組活発に若手校友から心強い発言

宝塚支部(兼丸秀樹支部長)23年度総会では、10月8日に宝塚ホテルで開催された。出席者は校友・来賓合わせて60人。

1部総会では、先ず東日本大

震災で亡くなられた方々と、当支部の物故者の冥福を祈り黙祷をさげた後、学歌斉唱により心をひとつにし、総会が始まった。

兼丸支部長からは開会挨拶の中で、支部活動活性化のため昨年から導入した副支部長担当制による取り組みの経過説明と、成果として会員参加事業の拡充、見やすい支部会報の発行、機関紙、関大への折り込みチラシの回数増、支部会費納入者を主とした会員宅等への訪問等々の取り組みが実施できたとの報告があり、併せて総会参加者増や会費納入者増の披露もあった。

2部懇親会では、冒頭に特別出演として文化会ギタークラブの森本さんほか男子6人の演奏としたメンバーによる演奏があ



り、「学歌」「粉屋の踊り」など聞き慣れたメロディに引き寄せられた。

支部総会において現役学生の演奏を聴くのは初めてのことであり、その新鮮さとともに繊細、且つ多彩な音色を奏でるクラシックギターの魅力を満喫した。

田中校友会副会長からは、母校の現状やアンケートから見る学生の意識など興味深い話と、強い関大への熱い思いが溢れた挨拶をいただいた後、近隣支部を代表して池田支部長の古川氏の乾杯の発声で宴に入った。

本年は平成卒業生4人の参加があり、本年卒業の校友からは

お母さまへ

主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。



高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)



支援留学生熱く抱負語る 支援2クラブは部活実演

西宮支部（中川経夫支部長）は、10月1日にノボテル甲子園で支部総会を開催した。上原洋允理事長、寺内俊太郎校友会長はじめ、近隣支部、各団体の

若い校友がもつと参加するよう尽力したいとの申し出に、新しい芽が発見できるなど朗報もあった。
宴の途中にはギタークラブの再出演もあり、会場の熱気はさらに高まり、予定していた時間を超えて、テーブルを超えての和気藹々の総会となった。
最後に、道遠歌を現役4回生木原応援副団長の指揮で、全員が肩を組み大合唱し、また来年の再会を楽しみにして、散会した。
（児玉美知子）
（塚本寿一＝0797－851491）

総会議事は継続事業として取り組んでいる「留学生支援」、「クラブ支援」、「西宮市民まつりへの参加」を取り上げての事業報告など全ての議案が承認を

来賓にご臨席を仰ぎ、現役学生15人を含む総勢115人の校友に参加いただいた。
冒頭に、校友の物故者と東日本大震災で亡くなられた方々を悼み黙祷を捧げた後、来賓を代表して上原洋允理事長に総会の祝辞を頂戴するとともに、西宮市において関西大学出身の河野昌弘市長が誕生したことは大学の誇りであると述べていただき、全員で河野市長へ拍手を贈った。



引き続いての懇親会では、寺内校友会長に祝辞をいただき、ともに関西大学に対する期待、特に司法試験合格者の増加について熱く述べていただいた。
西宮支部の継続事業である「留学生支援」で支援金を授与されたフランス、中国、韓国の各留学生に返礼とこれからの抱負や夢を熱く語ってもらい、「クラブ支援」で授与された美術部と自転車部には実演を伴った活動報告をしてもらった。

自転車部の実演は、狭い演台にもかかわらずダイナミックかつアクロバティックに自転車を操り宴会をさらに盛り上げ、美術部は大きなキャンパスに5人がかりで即興の作品を作り上げ、校友は皆その製作過程と出来映えに見入った。
（脇山公彦）
（宋興電機工業・小坂圭一＝0649115301）

今年も市民祭りに参加、後輩候補にターゲット
西宮支部は、8月20日に市役所周辺で行われた「にしのみや市民祭り」に参加した。ブースはお祭り広場にある大学コーナー。今年は、応援団と自転車部の現役学生が中心となって、関大のお揃いTシャツで汗だくになりながら頑張ってくれた。
周囲のブースからはフランク

フルトや、焼きそばなどの香ばしい匂いが漂うなか、わが関大ブースは、将来の後輩候補である幼児から小学生にターゲットを絞り、輪なげや、スパーボールすくい、ヨーヨーつりを行い、子供たちの心をつち掴んだ。

市民祭りは今年で4回目の参加だが、認知度も徐々に高まり、周辺在住のOBの方々にもたくさん参加していただき、現役とOBの素晴らしい交流の一日となった。
（関 敦生）

老・壮・青の百余人集う
漕艇部にエールと激励金
東播支部（中田喜高支部長）は、23年度総会を9月14日に加古川プラザホテルで、田中義昭校友会副会長をはじめ近隣支部役員など来賓の臨席を得て盛大に開催した。過日の台風12号の影響により欠席を余儀なくされ

得た。
引き続いての懇親会では、寺内校友会長に祝辞をいただき、ともに関西大学に対する期待、特に司法試験合格者の増加について熱く述べていただいた。
西宮支部の継続事業である「留学生支援」で支援金を授与されたフランス、中国、韓国の各留学生に返礼とこれからの抱負や夢を熱く語ってもらい、「クラブ支援」で授与された美術部と自転車部には実演を伴った活動報告をしてもらった。



■正規取扱メーカー／アルファロメオ・フィアット、シトロエン、ロータスカーズ、MG Rover、シボレー・スタークラフト、キャデラック、HAMMER、ケーターハム・スーパー7、モーガン
＜その他取り扱い車種＞メルセデスベンツ、BMW、ボルシェ、フェラーリ、フォルクスワーゲン、アウディ、ジャガー、ボルボ、ロールスロイス、ベントレー、ランチャ、マセラティ、プジョー、Mini、その他クラシックカー・欧州車全般

昭和37年 商学部卒 会長 吉田尚司
http://www.jiron-auto.co.jp

〒556-0001大阪府大阪市浪速区下寺3-8-5 TEL.06-6644-0010 FAX.06-6644-0011
●営業時間：（平日）9:00～19:00（日祝）10:00～19:00 年中無休 ※年末年始は除く



た校友もあつたが、総勢104人の参加者があつた。

まず、総会の部で議案3件が可決承認されたあと、富田龍郎応援団長の指揮のもと学歌斉唱で懇親会の幕を開けた。中田支部長の挨拶に続いて、田中副会長から最近の母校の活躍ぶりと活発な校友会活動についての報告を含めた祝辞をいただいた。

次に、11月初旬に加古川市で開催される「加古川レガッタ大会（関西学生秋季選手権）」に出場する母校漕艇部に、エールとともに主将に激励金を贈った。さらに、「リーグ入りを目指している地元のサッカークラブ「バンディオンセ加古川」に在籍している2人の校友を壇上で紹介し、力強い抱負を聞かせても

らった。

校友でもある樽本加古川市長による乾杯の発声のあと暫し歓談し、すっかり恒例となった応援団リーダー部・チアリーダー部による勇壮かつ華麗な演舞に酔いつつ、校友同士の親睦を深めた。

来賓の東北大学応援団OBで兵庫県議会議員の山本敏信氏から、母校応援団にエールを送っていたくサブライズがあり、会場は一層の盛り上がりを見せた。

今回は、昭和26年卒業の大先輩から本年春の卒業生まで、まさに老・壮・青のバランスのとれた出席状況であつた。さらに新たな出席者の掘り起こしに努めていきたい。

閉宴にあたり「強い関大」にあやかり「勢いのある東播支部」を目指し、2年先の創立30周年に向け、校友相互の懇親と連携をさらに深めていくことを誓いつつ、木原寿規応援団副団長リードにより、逍遙歌を声高く合唱した。（副支部長 岩坂純一郎）
（角谷賢造）079-448-7142

初参加でも気軽に交流 発足6年目の平成倶楽部

神戸平成倶楽部（山本智子代表）第16回の親睦会を7月9日夕方、神戸三宮ハイネケン・



ビアテラスにて神戸支部の平成卒メンバーが集まり交流を図った。世話人の今中寛（平9商）の乾杯で開会し、進行は神戸市役所の大榮文人（平20商）により楽しくスタートした。

前回に続いての参加は、税理士事務所の本太慎二（平3法）、農業を営む梶成良（平7文）、行政書士の河野聡（平10法）、エンジニアの立石一真（平8工）、不動産業の永山剛（平8商）、ハウスメーカー営業の木村英明（平17商）、教育業の大浜伸人（平21専会計）、木戸美智子（平7社）、西嶋育代（平8経）、高嶋沢美（平8商）。初参加は末政真理（平19文）らで、平成の各年代・学部・同・異業種の交流もにぎやかに弾んだ。

猛暑も和らぎ、明るかった空もすっかり日が暮れた神戸の夜、これからも平成卒の親睦を深め、楽しく語り合おうと締めくくつ

た。

関大神戸平成倶楽部は、平成17年に発足し早や6年目、初参加でも気軽に楽しめ交流できるような親睦会等の企画をこれからも進めていき、神戸支部の活性化に努めていきたいと思います。

（常任幹事 平20商 大榮文人）
（東光商会）078-453-2211
ku1886@nifty.com
<http://www2.kandai-koyukai.com/al/kobe/>

支部長に井上能一氏選任 社会福祉協に恒例の寄付

10月8日、アステ川西で初参加者11人を含む来賓、校友計80人の出席のもと23年度川西支部（井上能一支部長代行）総会が



開催された。

第1部の総会には新稲副支部長の司会で始まり、井上支部長代行の挨拶のあと22年度の事業報告、会計報告が審議・承認され、続いて23年度の事業計画、予算案を審議、原案通り承認された。

後任支部長の選任については「後任役員選考推薦委員会」の推薦通り、井上能一氏が承認され事務局長の後任に、荒木敏雄副支部長が承認された。

続いて県議会議員である加茂忍氏（昭50史）が川西・猪名川地区から初めて県議会議長に就任され、記念講演を行った。

しばし休憩の後、第2部の懇親会に入った。物故者への黙祷、学歌斉唱のあと校友会本部の古川好男副会長はじめ、来賓の近隣支部代表が紹介された。来賓の方々からお祝いのスピーチをいただいたあと、待望の会食・懇親会につづった。

テーブルでは、在学時代の思い出話に花が咲き、あちこちで笑い声が絶えなかった。酔いも回り、お腹もふくれたところでアトラクションとなり、ジャズ演奏とボーカルの熱唱を聞き、心をはすませた。続いて川西支部として、川西市社会福祉協議会に対し、毎年恒例の寄付金が贈呈された。

懇親会も終盤をむかえ、相澤

佐敷副支部長の力強い指揮のもと皆で肩を組み道遙歌を歌い上げた。全員で記念写真を撮り、お互いの健康を気遣い、再会を約し閉会となった。(白井 宏)
(荒木敏雄「072」758-1787)

5会共催で「夕涼み会」 各会が秋以降の計画説明

川西支部夏の恒例行事である「ゴルフ・釣り・歩こう・史跡探訪・ヤングの会」5会共催による夕涼み会が8月27日、校友野口氏の料亭「胡兆」で参加者43人で開催された。

開会に先立ち、先日急逝された浅野支部長、滝岡釣り同好会長をほか物故校友への黙禱を行った後、井上支部長代行から今後の執行部体制や運営等につい



て報告が行われた。

初参加の村瀬保夫氏の自己紹介があり、盛大な拍手で以って迎えられた。

五会を代表してゴルフ愛好会櫻井会長の開会挨拶があり、県議会議長に就任された加茂忍支部顧問による乾杯の発声により開宴となった。

あちこちで賑やかな談笑や杯の交換がなされる中、各会会長・幹事により秋以降の大会や行事計画についての説明があり、活発な活動ぶりが窺われた。

次回「納会」主担当の歩こう会曰井会長による「夕涼み会」参加者及び主担当への謝辞と「納会」への会員諸氏の多数参加を歓迎する挨拶で閉宴となった。(釣り同好会 山内眞一郎)

鯨の大漁に沸いた大会 阪上氏初のダブル受賞

川西支部釣り同好会の第18回秋季大会が10月1日に須磨海釣り公園で8人が参加し開催された。

アジ釣りのシーズンであり、好釣り場でも知られる須磨海釣り公園での今大会はアジ狙いの釣りではあるが、優勝は大物を狙って魚種問わずの長寸大とし、午前7時に競技を開始した。

海岸寄りの餌売場近くに陣取った村田・阪上・本田氏に幸先



良く15センチ前後の良型のアジが釣れ出し歓声が上がった。他の所に竿を出した辻田・野口・山内・安田・井上氏には全くアタリがなく、好調に釣り上げている阪上氏の周りに全員が釣り場を移したところ、各人の竿にアタリが来て次々にアジが釣れ出した。

釣ったアジを餌にして大物狙いに出した竿や、チヌ、アイナメ狙いの竿には餌取りのフグしか掛からず空振りに終わってしまった。午後1時、喰いが止んだところで競技終了し納竿とした。

今大会の優勝は、長寸大となつた鯖の20センチとアジ60匹以上を釣り上げた阪上氏が竿頭も獲得し、大会初のダブル受賞となった。

次回は来年5月海上釣堀への釣行を予定している。

(釣り同好会副会長 山内眞一郎)

初見参！母校より応援団 クラブ飛躍の確かな感触

明石関大クラブ(鈴木一雄会長)23年度総会は9月3日、応援団の乱舞を見越して会場を例年の「人丸花壇」から明石城お堀端「グリーンヒルホテル明石」に変えて開催した。

当日は、台風直撃は免れたものの雨は激しく、やむなく欠席された来賓・会員は12人を数えることとなった。

総会は、古川好男校友会副会長はじめ近隣4支部(6支部予定)代表の方々を来賓に迎え、また校友多数出席のもと、例年にも増して盛況の開会となった。それは、現役応援団富田龍郎第89代団長率いる11人、バトン・チアリーダーを交えての来演はもとより、台風の中を駆けつけた連帯意識の現れであつたろうか。

総会に先立ち、未曾有の東北大地震により尊い生命を亡くされた方々と物故会員の冥福を祈り、全員で一分間の黙禱を捧げた。

第1部総会で、鈴木会長は悪天候を押してのご出席に深甚の謝辞を表明し、明石関大クラブの活性化をさらに高めていきたいと決意を表明した。

古川副会長の来賓祝辞の後、議事に入り、事業報告ならびに



会計報告・監査報告および23年度事業計画・会計予算の各議案は、満場一致で原案とより承認可決された。

第2部の懇親会は、佐野勝美元明石市議会議長の乾杯の発声で開宴。懇親会の呼び物は何といても応援団の登場。応援歌や学生歌の渾身の乱舞、華麗さと力強さの交錯したバトン・チアリーダーの演舞に、会場は手をたたき足を踏み鳴らしての、陶酔のひとつときであつた。よくぞ関西大学に学びけりと誇りを実感できたことであろう。

会半ば、河合事務局長の主導により全員が3分の近況報告を行って旧交を温め、新たな校友知己も増えて交流の場を深めるうちに、楽しかった時間もやがてお開きとなった。

締めくくりは「道遙歌」の大



合唱。富田應援團長により声高らかに歌って充実感を満喫し、来年の再会を約して、家路へと向かった。（会長 鈴木一雄）
（ふじもと法律事務所 078-917-7481）

27人でバーベキュー大会 今年も若手が楽しい企画

8月26日、夕刻といえども暑さは真夏並みの明石大蔵海岸。恒例となった明石関大クラブ主催「バーベキューの集い」を今年も盛況に開催した。

発起人の菊川和俊副幹事長（昭54商）と岩倉舞常任幹事（平17仏文）の2人が、多様な準備を整え、他支部の若い校友にも声をかけて用意万端であった。近隣支部の神戸から7人、芦屋から2人の校友を迎え、総勢27人のにぎやかなバーベキューの集いとなった。

気温の高い夕日を背に、炭火の燃え盛る「かまど」の傍らで肉や野菜を焼く重労働は、もっぱら若き後輩男子校友が努めてくれ、先輩や女性校友また同僚家族は感謝感謝でおいしく舌鼓。

この集いは、近隣支部における平成校友の活躍に学び、前記の菊川・岩倉両発起人が立案して始めて3回目となり、地の利も得て明石関大クラブの名物行事となってきたのは喜ばしいことと、今後は東播・姫路・小野・淡路の各支部にも呼びかけ、さらに大きな集いを目指している。

週末の当日は家族連れや、グループ客などで賑わっていたが、われわれも食べて飲んで語り、その後はビンゴゲームに興じて、和気藹々の歓談を楽しんだ。盛り上がりで時刻も忘れるうちに、お開きのときとなり、逍遙歌を合唱して散会した。

明石関大クラブの若き後輩たち、今年も楽しい企画を実現して、近隣支部の校友も参加いただいて盛り上げてくれた。お礼を申し上げます。

（会長 鈴木一雄）

八坂より祈りをこめて！ 関大校友の思いは一つ！

9月4日、京都支部（牧村史郎支部長）女性校友の集い＆中・東地区在住校友合同懇親



会が、京都の老舗料亭・中村楼で開催された。

牧村支部長はじめ、参加された32人が、一日も早い東日本大震災からの復興を強く願い、亡くなられた方々へ黙祷を捧げ、開会した。

恒例となった落語大学OBによる古典落語、今年は浪漫亭不良雲（ろまんてい・ぶらうん）さんの話芸を楽しんだ。

中村楼さんの料理に舌鼓を打ちながら校友との会話ははずみ、楽しい時間を惜しみつつ閉会となった。

わたしは初参加だったが、改めて関西大校友の一体感を感じた。facebookでお誘いし、ご参加いただいた校友もいた。来年はもっと多くの皆さまと一緒に、落語と料理を堪能できることを楽しみにしている。

余談ですが、中村楼のご息も関大校友とのこと。皆さまも一度中村楼でお食事を楽しまれたいいかがでしょうか。

大仲土和最高検総務部長が講演 来賓に上原理事長、井上市長ら多数

母校のお膝元吹田支部（奥谷英夫支部長）では、9月24日に吹田市文化会館・メイシアターで23年度総会を開催した。参加者は新卒招待者2人、来賓など含め100余人。

大倉幾三郎副支部長の開会の挨拶、富田龍郎応援団第89代団長の指揮で学歌斉唱の後、昨年の総会以降の会員物故者、また東日本大震災など自然災害で犠牲となられた方の冥福を祈って黙祷を捧げた。

奥谷支部長が、挨拶で来賓や会員に出席のお礼を述べ、また議案審議への協力をお願いした。

来賓の田中義昭校友会副会長、上原洋允法人理事長から、母校の現況報告を含めたお祝いの言葉をいただき、議事に入った。

議案について谷康司幹事長、小上廣之会計幹事などが説明し、異議なく承認された。

総会時には毎年講演会が行われており、今年の講師は、母校出身の大仲土和最高検察庁総務

（平10社 田中素則）
（大西康治 075-691-3513）



部長。講師には、「検察よもやま話」をテーマに、よくニュースに出てくる割に、あまり知識のない検察の世界の話を分かりやすい言葉で説明をしていた。出席者は興味深く聞き入っていた。

講演会終了後には、会場建物の外に出て出席者全員の記念撮影を行い、第3部の懇親会の行われる会場へと移動した。

開宴に先立ち、今年4月の吹田市長選挙で当選就任した井上哲也市長がステージに登壇、地

元の母校会員に対してエールを送っていた。

懇親会では、応援団のリーダー部、バトンチアリーダー部の熱のこもった演技や、恒例の空クジなしの福引きなどで楽しみまた明るさが残る初秋の夕暮れ名残を惜しみながら散会した。

(常任幹事 三浦横吾)

(日隆産業・谷康司) 06-6329-4424

誇りと思い出に花咲く 初参加者に盛大な拍手

交野支部(安原敏夫支部長)の総会が10月2日に交野市立保健福祉総合センターで開催され、田中義昭校友会副会長はじめ覆屋川・守口・門真・四條畷の各支部長、大東・枚方両副支部長を来賓に迎えた。

藤原三郎副支部長の司会で進行し、安原支部長は「関大の発展は校友に活力と勇気を与えてくれ、本当に頼もしい。交野支部も校友相互の親睦と連帯を図りながら、活発な活動を展開しよう」と述べた。

議事に入り、事業報告、会計報告、会計監査報告が承認された。田中副会長は来賓挨拶で「校友会の現状と今後の展開、母校の近況」につき熱意を込めて語られ、出席者一同、熱心に聴き入り感銘した。

懇親会に移り、相馬明長副支



部長の乾杯の発声で、声高らかに杯を重ねた。和やかな雰囲気の中で近況を語り合い、母校の思い出に花が咲いた。

初参加者の自己紹介が行われると割れんばかりの拍手が鳴り響いた。話も弾み、楽しい歓談のひとときがあつたという間に過ぎ、宴たけなわとなったところで、逍遙歌を声高く合唱し、宴の余韻に浸りつつ、仲谷一壽幹事長の閉会の言葉で散会となった。

(事務局 奥野和夫)

(安原敏夫) 072-892-6714

天神祭の花火を鑑賞 河内若手会夏のイベント

7月25日、河内若手会(宮崎文雄会長)では天神祭りの花火鑑賞を兼ね懇親会を開催した。昨年に引き続き、天満橋にあるホテルの中華レストランの一角

を貸切つてのにぎやかな開催になった。この日は天神祭りの鑑賞用にホテル利用者限定で屋上を開放いただいていた、この屋上からの眺めが好評である。

当日は、若手会会員はじめ、校友会に初参加の方、家族や友人、知人など20人が集まった。

会は、宮崎会長の挨拶後、相談役の中尾先輩の乾杯発声で開宴した。冷えた飲み物で涼をとったりつつ美味しい料理をいただき、それぞれの自己紹介へと続くが、途中、花火がはじまると皆屋上へとあがり最高のロケーションから花火や屋形船の鑑賞へ。あつという間に時間になった。閉会は坂本副会長に挨拶いただいた。



導で二次会へと移られる人も多数おられた。

河内若手会は2008年4月、河内地区の若手有志が各支部の会員増強、異業種交流、親睦を目的に結成したものの。結成第1弾企画として『なにわ探検クルーズ』と懇親会を開催、桜の名所・大川をメインにしたクルーズを楽しんだ。

以後、食事会(飲み会)を中心としたイベントを行っている。「行事への参加はちょっと」と思われる方は、まずは情報交換の場であるメーリングリストへの登録をお勧めします。

(副幹事長 水野清慈)
(若手会事務局 石田成年) ku_kawachi@me.com

「流し踊り」で今年も参加 沿道から、来年は踊りたい

八尾支部(中尾達夫支部長)は8月28日、「がんばろう、日本!」と東日本大震災復興支援をテーマにした第34回八尾河内音頭まつり大パレードに参加した。参加団体は68連、参加者は約3千人であった。

八尾支部は、校友とその家族で構成し、踊り手が17人、スタッフが3人、サポーターが2人の参加であった。

当日の衣装は白地に紫紺で「関西大学」と染め抜いた浴衣と男性は紫紺、女性は黄色の帯



を着用し、白足袋に白い鼻緒の草履で清潔感と清涼感を表した。踊りは「流し踊り」で優雅さと上品さを表現した。

コースは近鉄八尾駅ガード下から八尾市役所のわずか400mを、約30分かけて、男性は優雅さの中にも力強く凛々しく、女性は品よく、優雅に華やかに踊った。八尾支部のスタート時間が16時43分。少し太陽が陰った時間帯でもあつたので、沿道には多くの市民が集まり、拍手や激励の掛け声、カメラのフラッシュで注目を集めた。踊っている校友は汗だくであつたが多くの方に笑顔で応えた。

事前にローカルメディアから、写真取材とインタビュー取材を受けており、当日はJ・COMのテレビ中継、F・Mちゃおのラジオ中継でも、八尾支部を紹介していただいたよである。

八尾支部と関西大学のPRに



当学院教室開講都道府県
合格者占有率 50.0%
当学院教室開講都道府県
合格者4,189名のうち、
当学院合格者数2,096名

当学院教室開講都道府県
**学科・製図ストレート
合格者占有率 54.5%**
学科・製図ストレート合格者
2,093名のうち、当学院合格者数1,141名

※都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表の受験番号より算出。※上記、当学院開講都道府県合格者占有率には、1級設計製図講座を開講していない青森県、岩手県、秋田県、長野県、鳥取県、島根県、愛媛県、高知県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、沖縄県の合格者は含んでおりません。※上記エリアから開講の当学院開講教室にて受講し合格された方は、合格実績に含んでおりません。※学科・製図ストレート合格者とは、平成22年度1級建築士学科試験に合格し、平成22年度1級建築士設計製図試験にストレートで合格した方です。※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

関西大学

平成22年度 1級建築士合格者

卒業合格者 **62名中、34名が**
当学院の講座を利用して合格されました!

平成22年度 2級建築士 試験

学科試験
当学院受講生 基準達成者合格率 **96.4%**
8割出席・8割宿題提出・模擬試験60点以上
受講生533名中、合格者514名

設計製図試験
当学院合格者数 **2,273名**
2級製図講座 当学院受講生
基準達成者合格率 **75.7%**
9割出席・9割宿題提出受講生
1,690名中、合格者1,260名

平成22年度 宅地建物取引主任者 試験

当学院受講生 基準達成者合格率 **79.5%**
当学院 合格バックアップシステムの基盤である8割
出席・8割宿題提出・公開統一模試得点率8割以上の
受講生117名中、合格者93名

平成22年度 1級建築施工管理技術検定

学科試験
当学院受講生 基準達成者合格率 **90.3%**
9割出席・9割宿題提出受講生144名中、合格者130名

実地試験
当学院受講生 基準達成者合格率 **87.6%**
9割出席・9割宿題提出受講生509名中、合格者446名

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。

“わかるまで”“独力で解けるまで・
描けるまで”指導します。

1級・2級建築士 1級・2級建築施工管理技術士

宅地建物取引主任者 インテリアコーディネーター

ファイナンシャル・プランナー 構造計算コース

株式会社 総合資格 監理技術者講習実施機関 登録番号7
(社)日本建築学会 宅建登録講習機関 登録番号(3)第009号
(社)全国産業人能力開発団体連合会 宅建登録講習実施機関 登録番号(2)第5号

株式会社 総合資格学院法政講習センター 一級建築士定期講習 登録番号 第6号
国土交通大臣登録講習機関 二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

今すぐウェブ検索! ケータイサイトも充実!

総合資格 検索 <http://gakui.jp/>

www.shikaku.co.jp ※QRコードは
バーコードリーダー
対応機種に限りません。

総合資格学院
すべては「合格」のために

梅田校 TEL.06-6374-1411 神戸校 TEL.078-224-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911 姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211 京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511 津津校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311 奈良校 TEL.0742-30-1511
高槻校 TEL.072-686-6711

学院長 岸 隆司 (法48卒)

河内8支部がぶどう狩り
二次会で手品など楽しむ

野、富田林の7支部の校友・家族が協賛参加した。
今年の参加者は大人47人、子供16人の多人数で、今年は河内地区校友会が、ぶどう園を貸し切り状態にしてしまった。
昼食は各支部の垣根を払い、車座になり、ぶどう棚からの木漏れ日を浴びながらビール等を

「河内音頭まつり」。校友参加者は皆爽やかな汗と笑顔で若さ漲れるパワーを感じる。沿道で応援の校友から「来年は是非、河内音頭まつりのパレードに踊りで参加したい」と嬉しい申し出もあり、次世代校友の参加をおおいに期待し今から楽しみである。
(副支部長 南野佳子)



野、富田林の7支部の校友・家族が協賛参加した。
今年の参加者は大人47人、子供16人の多人数で、今年は河内地区校友会が、ぶどう園を貸し切り状態にしてしまった。
昼食は各支部の垣根を払い、車座になり、ぶどう棚からの木漏れ日を浴びながらビール等を

片手に各自持ち寄った弁当を交換しながら、和気あいあいと食事を楽しんだ。ぶどう棚には「食べ放題ですが、取り放題ではありません」との注意書きがあったが、さすがに一房は食べきれなかった。
ぶどう狩りを楽しんだ後、柏原市健康保養センター「サンヒル柏原」へと少しだけのハイキングを楽しむ。舗装された丘陵とは言え少し汗ばんでくる陽気である。

最後に岡野支部長より、最寄り駅まで「マイクロバス」の提供をするとの提案を受け満場、大拍手。子供達と同様に大人も思い出をお土産にリュックやショルダーバッグに詰めて、それぞれが駅まで帰路についた。まさに英気を養う楽しい初秋の一日であった。
(八尾支部長 中尾達夫)

野富蔵名誉支部長「ご夫妻によるマジックショーや、柏原支部の中野園子河内若手会副会長の軽妙な司会によるビンゴゲームやじゃんけん大会で、多いに盛り上がった。子供達は大喜びで、岡野支部長は「これだけ楽しんでいただければやりがいもあり、本当に嬉しいことだ」と微笑んでいた。宴会場では、各支部の近況報告や今後の行事日程報告等も行われた。

親睦ボウリング大会
校友市議2人も参加



守口支部(平井治支部長)の第2回親睦ボウリング大会が10月19日、守口市役所純正会の協力を得て、ラウンドワン守口で行われた。参加者は30人で、うち女性4人。守口市議会議員の澤井良一・服部浩之両校友も駆けつけ、第1回の優勝者であ

る杉本國雄副支部長の始球式でプレーを開始した。

10レーンに分かれ、2ゲームのスクラッチトーナメントで優勝を競ったが、前回優勝者は2ゲームでマイナス100、準優勝者はマイナス80のハンディが付けられ、他方、女性は80のハンディをプラス。

ほとんどが前回2月9日以来のボウリングだとい、初参加者の中には20数年ぶりだとか、ボウリングは初めてという人もおられた。それでもストライクやスベアが出るたびに「やったー」とはしゃぐなど、和気藹々でプレーを愉しんだ。

成績は、安田大輔氏がトータル349点で優勝、準優勝にはハンディを生かして城美知代さんが343点で入り、前回1・2位を占めた杉本副支部長、平井支部長はハンディの大きさに戦意消失したのが、下位に低迷した。

終了後、有志21人が同じビル内のカラオケ店に繰り込み二次会。ビール等で喉を潤し、カラオケそっちのけで談笑しあい、ボウリングに負けず劣らず大いに盛り上がった。

(副支部長 山本護)

(篠原勝) 06—6998—5115

マジックや南京玉すだれ 染太校友も小話で出演

大阪中央支部(伊藤晃充支部長)は、10月1日にシテイプラザ大阪で来賓を含め70人の出席を得て総会並びに懇親会を開催した。

第1部総会では、学歌斉唱、伊藤支部長の挨拶、来賓紹介の後、古川校友会副会長から祝辞をいただいた。その後各部事業報告、会計報告、会計監査報告と議事を進行し全て承認が得られた。

第2部懇親会では、石井校友会副会長の乾杯でスタートし、初参加者紹介、マジック・南京玉すだれ、林家染太校友による小話、そして豪華な景品の福引大会へと進むころには各テーブルも大いに盛り上がり打ち解けていた。

宴もピークの頃、応援団OB



長柄会馬淵幹事長のリードで円陣になり肩を組んで逍遙歌を大合唱、数内副支部長の閉会の辞、進藤副支部長の大阪締めでお開きとなった。

(広報部 岡田 恭典)
(伊藤晃充) 0743—71—2285

落語大学卒校友が出演 ホテル日航大阪で総会

9月10日に心斎橋のホテル日航大阪で、阿倍野支部(松田充弘支部長)の23年度総会が開催された。校友会本部の田中義昭副会長ら来賓を含め総勢29人の出席をいただいた。

第1部の総会では、学歌斉唱、松田支部長の挨拶に続き、議案審議では各議案が滞りなく審議・承認された。

第2部は、来賓を代表して田



中義昭副会長から挨拶をいただき、大阪市内支部連合会の田中義信会長の乾杯の発声で懇親会をスタートした。まずは、落語大学卒業で校友の「表現舎乱坊」師匠の爆笑落語会で始まり、阿倍野支部会員の紹介に続き、ゴルフのバットの腕によつて賞品が決まる抽選会等大いに盛り上がった。最後は逍遙歌斉唱の後、閉会の辞とともに大阪締めをもって散会となった。

(副支部長 松峯哲也)
(松田商事) 06—6622—5580

高野副支部長の表彰祝う 面白ビンゴゲームで爆笑

9月21日に鶴見支部(徳野豊支部長)役員会を鶴見区「ふうふや」で開いた。徳野支部長から高野武文副支部長(昭34法、陽光社社長)が10月16日の校友会総会で「個人功労表彰」を受けられるという嬉しいニュースが報告され、全員祝福の拍手で歓迎。

南畑幹事長代理から、今年1月からの支部の主要行事報告と6月の3支部合同総会の会計報告。また、会計役員の重里氏から支部活動活性化の対策を熱心に語っていただき、今後の若手会員の勧誘に大いに期待を与えられた。

ハンドボール部OBの近藤副



幹事長からハンドボール部が西日本大会で優勝、11月には若手県花巻で全国大会に出場との報告。普段はジョークの多い近藤氏が、この時だけは熱く、自身の高校時代の優勝とともに、燃える思いをもって関大ハンドボール部で活躍されたエピソードを大いに語ってくれた。

食事も進み、歓談も大いに盛り上がったところで、恒例の面白ビンゴゲームへ。ジャガイモ、こうじみそ、たわしなど、普段自分では買ったことのない景品が飛び出すたびに大爆笑の渦。10月下旬の次回役員会を楽しみに閉会した。

(幹事長 迫 匡)
(徳野豊) 06—6912—9357

創立50周年記念総会に154人 平成23年度試験合格者祝賀会も

10月14日に大阪新阪急ホテルで、関大法曹会（小松陽一郎幹事長・昭51院修私）は、創立50周年記念総会を開催し、正副幹事長改選、幹事改選、創立50周年記念誌発行特別会費徴収及び同会の決算の各議事が承認され、同会が主催する司法試験合格者らのための事前研修、記念誌発行、記念ゴルフ大会などについての会務報告がなされた。

その後、創立50周年を記念し、校友の市川訓敏法学部教授によるスライドを使用した「関西法律学校の創立とその精神」をテーマとした講演が行われた。本講演は、校祖児島惟謙をはじめとする関西大学のルーツや法

律学校としての発展の歴史を改めて学ぶことができ、まさに50周年記念にふさわしい内容であったと、好評を博した。

引き続き、大学との共催による本年度司法試験合格者祝賀会が開催され、本学法科大学院出身合格者35人中32人、本学出身で他大学法科大学院出身者22人中8人を含む総勢154人が出席する大変賑やかな会となった。

祝賀会の冒頭、上原洋允理事長は、合格者に対し自己研鑽し、依頼者から信頼を獲得できるように努めること、楠見晴重学長は、権力から正義を護れという建学の精神をいつまでも忘れずに、法曹として活躍して欲しいこと、寺内俊太郎校友会長は、校友の諸先輩との絆を大切にしたいことなど、各来賓が合格者を激励する挨拶の後、吉田栄司法学部長が「関大法法律事務所構想」の実現を強く期待するとされて乾杯の発声を行った。

さらに、各自が懇親を深める和やかなひとときの後、学長及び校友会長から合格者へ記念品贈呈が行われ、その後、栗原宏武名誉教授、市原靖久副学長、法科大学院特別顧問教授である

久保井一匡元日弁連会長及び滝井繁男元最高裁判事、中尾巧元大阪高検検事長、山田庸男元大阪弁護士会会長、法科大学院教授である鳥越健治元広島高裁長官及び那須彰元京都地裁所長、小寺一矢元大阪弁護士会会長等たくさんの方々から、合格者に対する温かいお祝いのスピーチや激励のお言葉などが相次いだ。

宴もたけなわとなったころには、皆が肩を組んで大阪弁護士会元副会長の辻口信良会員の前口上で追送歌を合唱し、締め括りは評議員会議長の児玉憲夫元幹事長からの激励の挨拶で、散会となった。（箕浦 茜）
（尾島法律事務所〓06-6363-2870）

特別例会で初の芸術企画 酒蔵コンサート&懇親会

経済人クラブ（西村太一会長）では、9月17日に灘五郷の神戸酒心館で第192回特別例会を開催した。

会員及び会員外の校友、音楽好きの家族、友人の参加に加え、矢田神戸市長、門淡路市長、地域の名士各位に私的に参加いただき、80人を超える大盛会となった。

楠見学長からの祝電披露に続いて、関西を代表する谷本華子氏と姉君美帆氏のピアノ伴奏に

よるプログラムは、古典派タルティーニの「悪魔のトリル」に始まり、ガーシュインの「ボギーとベス」、ベルトの「鏡の中の鏡」など近現代の作品までを網羅した。

独創性と技巧性が結合した谷本姉妹の演奏に魅了された会場は、感嘆の吐息に満ち、来場者は感動を共有した。1752年製のトーマスカルカッシのバイオリンとスタインウェイのピアノの名器の競演は、演奏の安定感をさらに裏付けていた。

若手会の企画に、東京経済人クラブ代表南部靖之氏令嬢で新人バイオリニスト南部怜奈氏もゲスト参加し、楽しく交流された。次世代、新時代への継承と発展の呼応を確信した特別例会であった。

懇親会は、秋の懷石料理と暦

酒のメニューに加え、酒心館安福会長差し入れの純米吟醸酒に舌鼓した。愛飲家や美食家にとっては酒心館ならではのもてなしであった。

心とむなか「赤とんぼ」「里の秋」を合唱し、名残りの宴は終わりとなった。

（若手会幹事 長谷川真理）
（校友会気付〓06-6368-0041）

「サ高住の潜在力」の講演 法改正点を分かり易く解説

経済人クラブ若手会不動産・建築部会（KURC）（川端康平部会長）の第5回勉強会が、8月9日にホテル阪急インターナショナルで開催された。

勉強会には、IAO竹田設計の倉田敦夫氏（高齢者住宅シニ



「アコンサルタント」をお招きして
「今後5年で1・5兆円の建築
市場！サービス付き高齢者向
け住宅（サ高住）の潜在力」とい
うテーマで講演いただいた。

なかでも、従来の「高齢者住
まい法」が改正に伴って変更さ
れた6つのポイントについて、
分かり易く丁寧で要点をついた
お話を参加者全員が聞くことが
できた。

今、不動産・建設業界におい
て注目されているテーマだけに
全員が講演を真剣に聞き入り、
講演後は積極的な質問が飛び交
った。

懇親会は、岡田誠一氏（昭35
商、岡田本社会長）の乾杯の音
頭で始まった。倉田敦夫講師に
も参加いただいた、会員との交
流を深めた。

最後は、幹事の谷口欣久氏
（昭61工建、イチケン勤務）の
リードで逍遙歌を合唱し、盛り
上がるなか閉会となった。

なお、勉強会の様子はホーム
ページにも掲載していますので
ご覧ください。

<http://ku-keizaijclub.jp>

（幹事 西堀泰伸・平11経）

（半野司法書士事務所・半野典
子＝06－4800－1320）

hanno1320@mbj.nifty.com

煙下校友会顧問が卓話 岩崎、久井両先生を語る

9月21日、ANAクラウン
ラザホテル大阪で清交社関大会
（加藤拓会長）例会が14人の出
席のもと開催された。

今回の例会では、当社社員の
煙下辰典校友会顧問に卓話、関
大・戦後復興の父「久井忠雄」
のテーマで、戦後の関西大学を
経営の立場からお話いただいた。
同時期、教学には関大アカデミ
アを提唱され母校の礎を築かれ
た岩崎卯一先生がおられ、その
教え子久井忠雄先生と岩崎卯一
先生との双璧の功績を拝聴、戦
後四半世紀、今日にいたる関大
発展の歴史を垣間見させてもら
った。



接していた多くの社員は、鈍行
12号台風の来襲も忘れて歓談、
師恩の意も新たに更に一杯、無
窮のご縁を時の経つのもを忘れ
て楽しんだ。

次回の例会は新春の予定。

社団法人清交社は、ANAク
ラウンプラザホテル大阪の最上
階24階にあり、まもなく創立88
年を迎えようとする伝統と歴史
ある経済・社交倶楽部である。

会則の目的に「社員相互の親
睦を図り、友誼を厚くし、併せ
て社会的・文化的活動を行な
い、公益に寄与することを目的
とする。」とあり、清交社関大会
もこれを目標に鋭意努力してい
ます。多くの校友の入会を歓迎
しています。ご連絡は加藤拓ま
で。

（加藤 拓）
（ヒラク・加藤拓＝072－7
85－5507）

ナノテクノロジーで講演 会員の安達社長を講師に

年輪関大会（朝倉満会長）の
第5回例会を、8月26日に大阪
新阪急ホテルで開催した。

今回は当会のメンバーのジャ
スダック上場のクラスターテク
ノロジー（株）安達総社長（昭42
学応化）に講演をお願いした。

同社は、複合材料開発から精
密成型加工、超微細加工、解
析、計測技術まで一貫した技術
を有しており、ナノテクノロジー



ー等で幅広く異業種との提携を
考えており、その高い技術力に
は評価が非常に高い。

続いて、同じく当会のメンバ
ーで当会顧問の寺内校友会長に
大学の近況報告をいただいた。
また、校友会の連携プロデュ

楠見学長から「母校の将来展望」聴く 位置付けはプレ卒業60周年総会

学部二七年会（煙下辰典会
長）の23年度総会が、10月18日
の午前10時半開会で、大阪・肥
後橋の徐園で開催した。

当日は、母校から楠見晴重学
長、本部から古川副会長らを迎
えて、総員42人という盛大な集
いのものに開会した。

総会では、煙下会長から「本
年度総会は、明年に迎える卒業
60周年総会のプレ総会との位置

ーサーに就任された田中久仁男
氏から、創造型連携活動、産学
サークル等の今後の活動方針の
説明をいただいた。

同じく先端科学推進機構の松
井由樹氏から、その後の経過報
告、次世代経営者塾等の説明を
いただき、当会のオブザーバー
一浩造幸前校友会長の乾杯の音
頭で懇親会に入った。

今回の初参加者は3人で、会
員17人、来賓3人、計20人の参
加者だった。当会は、投資育成
の高いハードルを越えた企業、
そして関大卒業員のみが入会資
格で、会員数には限界があるが、
毎年2、3人の方の入会があ
り、現在40社である。

（朝倉 満）
（アサクラ・朝倉満＝06－63
54－8900）

付けの下に企画した。多数のご
参集に謝意を表する」と前置き
し、関西大学の歴史に大きな足
跡を残した岩崎卯一、久井忠雄
両先生の功績を語り、母校への
回顧と将来への期待を訴えた。
総会に上程の「事業・決算・
役員改選」の各案件は異議な
く承認された。

メインの特別講演では、来賓
の楠見学長から「関西大学の国



際化と日本の私立大学の現状」との演題で、映像による、明解にして熱情の籠った将来展望を語っていただき、大好評を博した。

懇親会に移り、会長の趣旨に賛同の「第一新生会・二六・二八・二九の各同期会代表」8人をはじめ、初参加ならびに50周年総会以来の参加組9人を迎えて、学長・本部役員・羽間顧問を囲み、42人が一堂に会し、交歓を重ねて盛況のうちに進行し、最後は逍遙歌を合唱して散会した。

(宮道伊佐美)

(畑下公認会計士事務所) 06-6773-3871

古希迎え秋の定例会 93歳まで継続が目標

神戸三九会恒例の秋の定例会を9月3日、台風直下警報発令の中にもかかわらず、久方振り



にニューミコンヘン神戸大使館にて開催、17人の参加を得た。

当日、目出度く古希を迎えた川崎会長を全員で祝福の後、半年ぶりの再会に杯も進んだ。

悠々自適の者、まだまだ現役で頑張っている者、孫たちと老後を楽しんでいる者など様々だが、93歳まで継続目標とする神戸三九会。ハテサテ最後は何人で開催できるでしょう。全員頑張ろう！ (事務局 石山康弘)

恩師伊澤教授偲んで黙祷 2次会はカラオケ楽しむ

10月22日、北浜の南禅で伊澤ゼミ同窓会が開催された。3年ぶりの開催で、17人が出席。

恩師伊澤孝平教授を偲んで黙祷。学歌斉唱に引き続き青木律雄世話人代表から開会の挨拶。写真撮影の後、開催日の22日に因んで22番目に返事をくれた織

田公之氏が乾杯の音頭。

山口千里会の藤井宏紀会長から「この頃思ふ事」を経験談を交えての話、堀浩一氏から「卒業当時の物価」についての話あり。

懇親会は往時にかえって和気あいあいと話が弾んだ。次回は2年後開催に決定、開会した。

2次会は京橋に出て飲み放題、歌い放題のカラオケを心行くまで楽しんだ。 (中西豊治)

110人集い第68回総会を開催 東日本大震災義援金の募集を行う

10月15日に応援団OB長柄会(大谷啓二会長)第68回総会と懇親会が、大阪新阪急ホテルで開催された。

第一部総会の冒頭、物故OB先輩諸氏、東日本大震災で犠牲となられた方々の冥福を祈り一分間の黙祷を捧げた。馬淵純一幹事長のリーダーによる学歌斉唱の後、大谷会長が議長に選出され、議事が進行。今年は役員改選の年に当たり、現役員が全て再選された。これは大谷会長をはじめ現役員に対する信任の厚さと期待の大きさを物語るもので、長柄会の一層の発展を予感させるとともに、第65回総会での2部応援団解団式の際に、森本靖一郎理事・相談役から頂戴した「長柄会は永遠に不滅」の言葉を確信させるものである。



第二部の懇親会は、大学から増地英一常務理事、黒田勇副学長、笹倉淳史学生センター所長、山本英一学長補佐(クレアーズ顧問教授)、校友会からは



古川好男副会長以下6人の出席をいただいた。また、校友会各支部、関係団体から多数の来賓の出席をいただき、総勢110人で盛会に開催された。

冒頭、東日本大震災で亡くなられた方々に黙祷を捧げた。なお、懇親会会場でお願ひした「東日本大震災義援金」は7万3228円となった。厚く御礼申し上げます。

続いて、川口照治君のリーダーによる学歌斉唱、大谷啓二会長の挨拶の後、来賓の挨拶をいただいた。滋賀県で行われたサッカーの試合から直接ご参加の黒田副学長は、「他者への尊敬」と「孔子の教え」の話を通して、黒田副学長の学生への温かい思いやりと深い愛情が伝わる挨拶をされ、笹倉学生センター所長からは、「強い関心とは相手に対する思いやりがあつて初めて達成出来る」との言葉を賜わり、古川好男校友会副会長は、「校友会活動は124支部とその他の組織を合わせて240もの組織があり、長柄会もその一つである。会員の人数は増え難いだろうが、充実・発展を願う」との励ましの言葉をいただいた。来賓紹介の後、増地常務理事に乾杯の音頭をお願いしたが、乾杯の前に「現役がいないので、会員の皆が現役になったつもりで、あと32回、第100回まで

総会が達成出来ることを祈念する」との温かい励ましの言葉を頂戴した。

祝宴の歓談の中、上原洋允理事長、楠見晴重学長からの祝電が読み上げられた後、OBバンドの演奏が行われ、平均年齢が50歳を超えているとは思えない迫力のある演奏であった。最後に、アンコールの声にこたえて、東日本大震災被災者への追悼の意を込めて、今や東北への応援歌となった「上を向いて歩こう」が演奏された。

続いて、チャリディングサークル「クレアーズ」の現役11人により、若さ溢れる潑刺としたパフォーマンスが演じられた。現役のいない長柄会にとつてのクレアーズとは、応援団精神を受け継いでくれる貴重な団体であり、現役学生と繋がる唯一の存在である。今後クレアーズの後盾となつて行く覚悟を新たにさせる素晴らしい演奏であった。引き続きOBにより「応援歌」「新学生歌」「関大マグマ」「学生歌」と、それぞれ現役時代を彷彿とさせる力強い演奏が披露され、会場は大いに盛り上がった。

その後、全員が楽しみにしていた「富くじ抽選会」が行われ、その余韻を残しながら、山村浩一君のリーダーにより全員で逍遙歌の斉唱に移った。最後に

小坂道一長柄会最高顧問によるユーモアに溢れる中締め挨拶を以って、名残りを惜しみつつ、第68回長柄会総会を終了した。

(第25代 出口健一)
(中村司法書士事務所・中村博) 06-6705-5678

盛大に50周年記念式典 卒団生の幅広い活躍実感

10月16日、文化会混声合唱団ひびきの創団50周年記念式典が、大阪梅田のホテル阪急インターナショナルで来賓を含めOB・OGら200余人が出席して開催された。

学歌斉唱、原田健作OB・OG会長の挨拶の後、関西学院大学混声合唱団OB・OG会の井上陽介氏をはじめ、かつて指導いただいた先生方が紹介された。そして、長年盟友として競い合ってきた関西大学グリークラブの塔筋浩司OB会理事長から祝辞が述べられた。

式典後のパーティでは、久しぶりに再開した仲間と一緒にひびき伝統の愛唱歌15曲を歌いながらの歓談で盛り上がった。卒団生の中には、著名なオペラ研究家やジャズシンガーとして活躍する者もあり、あらためて関大校友の幅広い活躍を実感できた。

創成期のOB・OGのテーブルでは「1960年代に40人近く



の女子団員が在籍していたことは、当時の関大の女子学生の数からすると奇跡的だった」と昔を振り返っていた。

国内外の一流大学には、必ず優れたクラシック合唱団が存在するが、その中であつてひびきの団員数が1980年代の125人をピークに年々減少し、現在60人足らずの状況になっていることは残念であるとの声もあった。大学合唱団の充実、その大学の知的水準の指標であるとも言われていることから、今後のひびきの発展が期待されるところである。

最後にフィナーレをテーマにした團伊玖磨作曲の「河口」を全員で合唱し、5時間近くにお



よぶ記念パーティの幕を閉じた。参加者全員には、これまでのひびきの歩みを記録したDVDが

記念品として配られた。
(幹事 吉川 勲)
hibiki.job@gmail.com

5支部43人参加で盛大に開催 中・四国地区近隣支部ゴルフ大会

9月10日、太田久直校友が支配人の後継ゴルフ倶楽部(岡山市北区)で、中国・四国地区近隣支部対抗ゴルフ大会が開催された。

この大会は、昨秋、広島支部の呼びかけで始まり、第1回大会は広島支部主催で、広島支部、山口千里会、岡山支部の参加で開催。

2回目となる今回は、岡山支部(行本章允支部長)の主催

で、備後支部、香川支部を加え、5支部43人参加という盛大な大会となった。

この日は最高気温32度とまだまだ暑さが厳しかったものの、校友会から提供いただいた会長杯(カップ)争奪を目指して、随所で闘志あふれるプレーが展開された(無論、親睦第一を旨とはしていたが...)。

ホールアウト後、倶楽部ハウスで表彰式が行われ、栄えある会長杯は(上位4人の合計ネット決定)香川支部が獲得。また個人戦でも香川支部の黒川一宏校友がグロス73、ネット71・8の好スコアで優勝した。地元開催の岡山は、19人の参加で団体優勝を狙ったが、ネット合計で1・2差の第3位に終わった(第2位は広島支部)。

表彰式会場は賑やかな談笑に包まれ、各支部の親睦は大いに図られた感があつた。次回は来年初、備後支部の主催とし、大会の更なる発展を期し散会とな





つた。
(岡山支部ゴルフ幹事 寺尾通宏)
(コアーズコンサルティング) 0
86-250-5592)

徳島支部が僅差で優勝 今年は東予千里会が主催

四国4県各支部が、昭和63年から親睦を目的として、各県持ち回り毎年開催している「校友会長杯四国支部対抗ゴルフ大会」が10月8日に開催された。

今年は愛媛の東予千里会(山岡睦男会長・昭42法)主催で、新居浜市の滝の宮カントリークラブを会場にして、各支部の精鋭20人が熱戦を繰り広げた。

3連休の初日のせいか例年より参加者が少なかったのは残念だが、天候にも恵まれ少し色づ

き始めた樹木の下、対抗戦とはいえ、それぞれの総会へ相互訪問している友好支部会員同士、和気あいあいとプレーを楽しんだ。

各支部参加者ネットスコア上位3人の合計点で競う団体戦は、わずか0・6点差で、連戦連勝を重ねてきた香川支部をかわした徳島支部(勝本恭弘・昭46社、井原敏晴・昭53商、西澤孝幸・昭62法)が、見事優勝。

個人戦も、徳島支部の勝本恭弘氏が同ネットの高知支部高橋利仁氏(平15法)を年齢優先順位でかわし、優勝に輝いた。

来年24回大会は、香川支部(川北文雄支部長・昭40法)主催で開催予定。最後は来年の再会・再戦を楽しみにしながら各県への帰路についた。

(東予千里会 白石研二・昭51社)
(定岡土地家屋調査士事務所) 0897-32-9767)

河内8支部対抗コンペ 松原支部が団体優勝飾る

第54回河内地区近隣支部対抗ゴルフコンペが、10月19日に奈良市の奈良の杜ゴルフクラブで、東大阪支部(岩崎夫支部長)のホストにより各支部34人の参加で開催された。

今回より従来の、柏原・河内長野・平野・松原・八尾・東大阪の他に大阪狭山・富田林の



各支部が新たに加わり競技を競った。

当日は素晴らしい好天に恵まれ、和やかな雰囲気の中で日ごろの技を競い合い親睦を深めた。また、校友会本部より団体戦の優勝カップが寄贈され一層競技に拍子がかかった。

プレー終了後、クラブハウスで表彰式が行われ、優勝は楠昭義氏(大阪狭山)・準優勝は岩崎英夫氏(東大阪)・3位は岡本信夫氏(柏原)の3人が入賞し、団体戦は松原支部(辻野和一支部長)が優勝を果たした。

次回は来年4月に平野支部のホストで開催することが決定した。(事業部長 三輪尚志)

優勝は実力発揮の瀬木氏 来春コンペでの再会約束

川西支部(井上能一支部長)



の第28回支部長杯ゴルフコンペが10月15日、けやきヒルG.Cで猪名川支部、池田支部の参加をいただき、総勢18人参加で賑やかに楽しく開催した。

前夜来からの雨を心配していたが、日頃の行いの良い校友ばかりで、爽やかなゴルフ日和であった。

プレー終了後表彰式に移り、優勝はベスグロと合せ実力を発揮した瀬木氏が優勝、準優勝は竹原氏、3位は福森氏だった。

懇親会では、初参加者の紹介やプレーの反省・雑談などの楽しい会話に花が咲き次回(来年春)での再会を約しコースを後にした。

(ゴルフ愛好会代表幹事 山下清景)

優勝は城東、2位天王寺 第3回親睦コンペ開催

9月8日秋晴れの下、大阪市内支部連合会第3回親睦ゴルフコンペが、兵庫県の北六甲C

C・東コースにて開催された。今回のコンペは、田中義信連合会新会長の就任祝賀会を兼ねたもので、前回優勝の首藤俊二旭支部長はじめ、城東・鶴見支部の執行部の方々のお世話により、市内の13支部35人の参加を得て催された。

競技は、ダブルペリア方式(ネット上位)で争われ、団体優勝は城東支部、準優勝は天王寺支部。また、個人戦での優勝は良原輝雄氏(天王寺支部)、準優勝は久家昭之氏(城東支部)だった。

団体優勝支部には、市内支部連合会よりクリスタルカップが、個人戦優勝者には、上原洋允理事長よりトロフィーが贈呈された。



た（今回は来年同時期に城東・東淀川支部の幹事により開催予定）。

続く懇親会は、北支部の上符文雄氏指揮による学歌でスタート。伊藤晃充大阪中央支部長の手配による米、肉、飲み物、商品券等々と、コンペの景品は彩り豊かな工夫がなされた品の数々。さらに参加者全員に、秋の味覚「松茸」が贈られ、「こんな豪華な賞品が頂けるのなら来年も是非とも参加したい！」と感動の声も。

最後に、田中新会長の当日の挨拶「（校友会活動は）地域支部が基盤であるとの認識の下で、大阪市内の各支部が活性化できるように協力し、各支部が元気になって、校友会本部を支えて行きましょう」、参加者全員が同じ想いを共有できた瞬間だった。（阿倍野支部 村上康司）

何と今回が初のコンペ 見事優勝は谷口会員

本年、関大出身法曹人の職域団体・関大法曹会（小松陽一郎会長）が創立50周年を迎える。10月14日には、本年度司法試験合格者の合格祝賀会を兼ねた記念祝典が催された。それに先立ち10月1日、鳴尾ゴルフ倶楽部で記念ゴルフコンペを開催した。

当日は総勢24人の方に参加い

ただいた。弁護士歴・ゴルフ歴とも40年以上の交友から、2年程度の交友まで幅広い層の方が参加し、おおいに交流を深めた。

当会は、弁護士が多数を占めるため、ゴルフコンペもよくやっているように思われがちだが、何と（記録上は）今回が初めての正式なゴルフコンペであったようだ。

やはり同じ大学を卒業した同期や先輩後輩という間柄からか、プレーも懇親会での雰囲気もいつものコンペ以上に和やかに楽しく行うことができた。

大会は、谷口由記会員（昭49学法）が見事優勝され記念カップを手に入れた。準優勝は、乗用カートがない中、参加者中3番目の年長者藤村睦美会員（昭34学法）が、ベストグロスは、鳴尾メンバーの藤谷和憲会員（昭54学法）が、それぞれ取得



された。

また、懇親会では、米田宏己会員（昭33学法）をはじめ多くの方々から、今後コンペの継続的な実施を求めるお言葉をいただいたので、今後より多くの会員にご出席いただきますようお願いいたします。

（小寺陽平 平11学法）
（尾島法律事務所 06-6363-2870）

愛宕原で129人が熱戦 千成会が団体・個人優勝

体育OB会（小坂道一会長）の11年度ゴルフ大会が、10月12日に愛宕原ゴルフ倶楽部で開催された。

快晴で、法人から上原理事長、池内専務理事、校友会から寺内会長、大谷副会長、石井副会長を迎え、友好団体のスポー



ツマンクラブ、応援団OB千成会、応援団OB長柄会、天六同友会の皆さんと各部OB、OGが熱戦を繰り広げた。

プレー終了後、表彰式が行われ、千成会田中幹事長の指揮で学歌を斉唱。

小坂会長挨拶、来賓を代表して上原理事長、寺内校友会長の挨拶があり、乾杯の発声を池内専務理事にしていた。

続いて成績発表が行われ、団体戦は千成会が、個人戦も千成会の鷲見彰治氏が優勝を飾り、森本杯が贈られた。

団体戦は2位がゴルフ部、3位は剣道部、個人戦2位は藤井春男氏、3位は中山大氏だった。

海蔵寺会長代行の閉会の辞、そして長柄会石原副会長のもとで逍遙歌を合唱し、お開きとなった。

（西田幸弘）
（近藤正昭 06-6935-5545）

秋のコンペ優勝は大川氏 次回は3月28日開催予定

経済人クラブ（西村太一会長）秋のゴルフコンペが、関西の名門、茨木カンツリー倶楽部西コースで9月22日に開催された。

9月に完成したばかりの西コースは、フェアウェイ・グリーンの美しさはもろろんのこと、



戦略性に富んだ素晴らしいコースであり、18人の参加者がプレーを楽しんだ。今回は初参加5人、女性2人、平成卒業5人が参加し、いつも以上に盛り上がった。

表彰式は、ゴルフ部会の大倉幾三郎会長と清水利達幹事の進行で行われ、優勝は、大川高史氏（ベスグロ）、2位は嶋田浩司氏、3位は浅井顕一氏という結果だった。次回は3月28日に茨木カンツリー倶楽部にて開催予定。今回の様子はホームページでも紹介しています。

<http://ku-keizaijinclub.jp/index.php>

（吉見淳史 平8工）

雨の中プレーを続行 すき焼きで盛り上がる

第44回二九千里会（福岡剛



チェリークラブコンペ 香山氏が優勝・ベスグロ

第63回関大チェリークラブ
(竹内知之会長) 秋季ゴルフコンペが、10月11日にり溪ゴルフクラブで開催された。

当日は絶好の日和に恵まれ、いつもながら和気藹々の一日を楽しんだ。

今回、堀好夫氏(39工)が初参加で、参加者の最高齢者は元気な80歳ですが、いつまでも多くの方が健康で、このコンペに参加していただきたいと願っている。

プレー終了後の懇親会では、会員の古川好男校友会副会長から、今年度受験生が関西ではト

会長) ゴルフコンペは、10月14日に花屋敷ゴルフ倶楽部・ひろのコースで開催した。
天気は、昼頃から降雨の予報で案じられたが、残り3ホールあたりから、かなり激しく降り出したものの何とか終了まで漕ぎつけた。
成績は、優勝とベスグロが大津淳(経)、準優勝は水野富蔵(商)、3位日高由雄(商)が獲得した。

今回は膝痛のためプレーはできなかったが、何時もながら本間君から賞品と松茸の差し入れがあり、すき焼きで懇親会はおおに盛り上がった。

次回の来年3月13日(火)ABCゴルフ倶楽部での再会を約し散会した。(日高由雄)
(水野富蔵) 072-922-0864



ップ、校友会活動も群を抜いた存在など、大学の現況報告があった。
成績は、ベスグロも獲得した加山享一(35法)が久々の優勝、2位中野弘(34経)、3位

校友トピックス

来年の卓上カレンダー 写真作家内藤氏が2種

毎年、日本の風景や山野草の詩情性豊かな卓上カレンダーを発表している写真作家の内藤稜児氏(昭29学法)が、平成24年の作品2種類を発表した。

1つは、風景中心の「歓季の賦」で、兵庫県・氷ノ山の山中、田植えが終わったばかりの田と新緑の山、遠く霞む山々をとらえた表紙をはじめ、朽ちかけた築地塀に花を落とす椿の大樹のほのぼのとした「春をめでる」(3月)など横長の12枚組。

もう一つはほぼ正方形で、岡山など石灰岩の多いところに自生し、雪の残る節分のころ清楚な花を咲かす「セツブンソウ」など、日本の山野草12枚組の「山野の草情」。題字はいずれも当麻寺・宗胤院住職の宮下寛昇氏(昭42学法)。

卓上カレンダーは、太閤園内で発売予定だが、贈答用として

久家昭之(40法)の各氏。
次回の春季コンペは4月中旬開催予定。
(ゴルフ部会 加山享一)
(数内正明) 06-6211-1050

会社の社名を入れるなど多数の場合は、光陵テクノアート主宰の内藤氏(電話090-11074-5435、FAX 06-4255-9112)まで。

また、内藤氏は「万葉集でも、自然環境の変化に耐えて健気に生きる草たちの愛らしい姿が、人間模様と被せて多く歌われている。山野草が育つ自然環境を大切に保ちたい」と、広く花の情報を募っている。



血糖299が2カ月で94に!ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に!

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。
「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値...。今回、やっと下げるモノが見つかりました!」と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。
▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料でお送りいたします。
特許番号 第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付

燕子掌 180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

良縁お世話致します

婚活(結婚)は、早ければ早いほど有利です!
関大生割引あり 一度お電話ください。

ブライダル ナカノ TEL 06-6702-8624
ホームページ <http://www.bridal-nakano.com/index.htm>
●関西大学卒業生(商87) 中野友美子

MESA 経済産業大臣認定個人情報保護団体 結婚相談業サポート協会会員

Bridal NAKANO



新刊



紹介

苗村 七郎（昭18大経）著

『至純の心を後世に
陸軍最後の特攻基地・万世』

ザメディアアクション 刊

定価 3714円+税



「1945（昭和20）年8月15日の終戦から66年、太平洋戦争がいつ始まり、いつ終わったのか、どこの国と戦ったのかさえも知らない若者が多くいます」と著者は語る。

戦争を知らない世代に語り
継ぐべく、これを風化させま
いとの思いで、今まで出版さ
れた「よろずよに」(昭和49年)

『陸軍最後の特攻基地』（昭和51年）、『陸軍最後の特攻基地 万世特攻隊員の遺言、遺影』

（平成5年）の上になつて、新たな執筆を加えられて集大成された本書が平成23年発刊された。

祖国や家族、愛する人のために自らの意志で命を捧げた特攻隊員の「至純の心」それは共に戦った者でなければ分かり得ない。特攻の真実、ご遺族の偽らない思い、その上、今日まで続けてきたさまざまな慰霊活動の詳細を克明に書かれ、苗村七郎の全身全霊を讀みとれる。

本文は、「学驚から陸驚へ」で著者の略歴を語り、「最後の沖縄特攻攻撃」で急を告げる沖縄の戦雲の中で戦局好転を願って万世飛行場から飛び立つ特攻隊員の模様を伝え、「ふるさとの証言」において特攻隊員と家庭の交信をしたため、「戦後の時は流れ」として著者をとりまく数々の追憶を述べ、終章「至純の心を後世に」の中では、各地の御霊を慰霊し、英国からの招待で堂々と日本特攻の真髓とその心を語り、明治期の父に鍛えられた我が子の志を説き、各地、各場所における講演で「至純の心を後世に」と訴え、本書の表題となった。

本書は、グラビアカラー14ページ、本文561ページ、

付録付の膨大なものであるが、この苗村七郎の志を知るために、小生執筆の関大564号に、36ページ掲載の「苗村七郎先輩と万世特攻慰霊碑」の随筆を参照せられたい。

是非多くの方々にご一読願
いたいものであります。

(畑下辰典 学部27年会)

松見 正直（昭40学法）著

『古代山城くくちのき
(鞠智城)く九州王朝再
興の夢舞台』』

文芸社
刊

定価 1500円+税



小説の舞台は、熊本県山鹿市と菊池市にまたがる古代山城で、現代では鞠智城と呼称しているが、古代では「くちのき」と称した。

まだ倭国と呼ばれていた我が国が、663年の白村江の戦いで唐と新羅の連合軍に大敗した後、進攻を恐れた大和政権は九州を中心に国土防衛の拠点として朝鮮式の山城を

築く。その一つが「くくちのき」なのだが、有明海沿岸部ではなく何故九州山地に近い内陸部に築かれたのか大きな謎でもある。

物語は、「くくちのき」探訪

記の執筆依頼を受け九州に向かった大阪在住の紀行作家・三枝部昭が、古代にタイムスリップ。三枝部が、信濃から防人として派遣されていた若者と遭遇したことから、「くくちのき」の軍事的かつ政治的意味を解き明かしていく形で進んでいく。

九州王朝の再興を夢見る筑

紫君磐井の末裔たち、防人と村娘の愛、万葉集の巻20の防人歌の編纂者・大伴家持と登場人物も多彩だ。

果たして、三枝部は現代に戻れたのだろうか……。

著者は、NHK記者出身で、平成10年大阪放送局広報部長を退職後、東大阪市長を務め、その間校友会代議員も務めた。現在、大阪芸術大学と大阪経済法科大学の客員教授の職にある。

著者にとつて5作目となる今回の作品は、朝鮮半島から引き揚げ帰国後、高校卒業まで14年間を過ごした青春の地が舞台である。熊本県と地元が自治体では、「くくちのき」の国営公園化運動に取り組んで

おり、この作品が指定獲得への弾みとなると同時に地域の活性化の一助になることを切に願っているとのこと。

(編集子)

高橋 美帆（平9院博英）著
『幻想の修道女―ブ
ラウニング・ロセッティ・ホ
プキンス』

英宝社 刊

定価 2400円 + 税



19世紀英国の文学や美術において、穏やかに流行をみせせたテーマのひとつに、修道女がある。このテーマはラファエル前派の絵画や、怪奇小説や扇情小説などに見られるが、最も実りのある展開を見せたのは詩であった。さかのぼれば、修道女は17世紀書簡体文学にたどりつく。その一部が19世紀初頭に英国女性詩人たちに注目され、翻案作品が次々に発表された。それらはオリエントの翻案であるだけではなく、相互の翻案や連作とな



り、ここに 修道女 をテーマとした大規模な連歌ともいえるべき作品群が形成された。しかし19世紀の英文学・文化研究において 修道女 のテーマを追求したものはない。この作品群はいわば「ミニジャンル」として、修道女ながら主流から隔絶され、忘れ去られた。

本書は、この「修道女文学」とも名づけるべきミニジャンルの評価を提起する、初の研究書である。修道女のテーマが詩、とくに英国ソネットの伝統において継承されていく系譜を、E・ブラウニング、C・ロセッティ、G・M・ホプキンスという三詩人の知られざる継承関係から解き明かしている。詩の秀逸な分析に、詩人たちの実人生を織り交ぜて描き、研究書でありながら物語のように読みやすい。英文にはすべて和訳が施されており、注も文末ではなく脚注にしており、行き届いた配慮が随所に見られる。同時に文学思潮としての 修道女 を概括的に捉えており、文化論として読んでも面白い。

著者は本年、国際ホプキンズ学会で最優秀学会賞を、日本人で初めて受賞。気鋭の一冊、ぜひ一読をおすすめしたい。(文学部名誉教授 安川 豊)

長坂 剛人(平9 学芸)著
『ストーリーでわかる「商標・意匠」しくみと手続き はじめての一冊』
同文館出版 刊
定価1500円+税



他人と差をつけるため、凝ったネーミングやデザインにする。そのようなネーミングやデザインをマネされないために、あらかじめ商標登録や意匠登録を受けておく。知っている方には常識でも、「他人から警告を受けるまでピンとこなかった」、「いつでも登録できると思っていた」という方が意外と多いのではないだろうか。

本書は、商標登録や意匠登録について、はじめて学ぶ方への入門書である。本書では、1つのテーマの冒頭に見開き2ページでストーリーが展開され、その後キーワードごとに約1ページの解説が入るスタイルを基本としている。とかくこの種の書籍は、ストーリーが中途半端に長かったり、

キーワードの解説が細かすぎたりするものだが、潔く短くまとめられており、読みやすい。

ちなみに、ストーリーの主人公は、商標登録や意匠登録の担当者突然任命された会社員という設定であり、現実味があつて感情移入しやすく配慮されている。また、図表やイラストも多く盛り込まれており、キーワードの解説に対する理解の助けとなるだけでなく、一種の資料としても使用できるだろう。

ビジネスを始めたばかりの方のみならず、第一線で活躍されているビジネスマンの方にも一読をお薦めしたい。「商標・意匠」の概略をつかむには最適の一冊である。(M・B)

宮崎隆旨氏が第23回國華賞を受賞

宮崎隆旨氏(昭46 M文史、奈良県立万葉文化館参与が、『奈良甲冑師の研究』(吉川弘文館)で第23回國華賞(平成23年度)を受賞した。

同賞は、日本・東洋古美術研究誌「國華」(朝日新聞社)の創刊100年を記念して昭和64年に創設され、平成元年以来、毎年秋に日本・東洋の



美術に関する優れた研究に対して、國華賞顕彰基金から贈られている。

本年度の贈呈式は、10月27日に東京・築地の朝日新聞社新館レセプション・ルームで行われ、賞状と副賞が授与された。

岩井浩名誉教授が経済統計学会賞を受賞

岩井浩名誉教授(元経済学



部教授)が、『雇用・失業指標と不安定就業の研究』(関西大学出版部)で2011年度経済統計学会賞を受賞した。経済統計学会賞は、社会科学としての統計学の理論と応用にたいし特に大きく寄与した著書・論文を著したものに授与されるもの。

表彰式は、9月14日に中央大学経済学部(多摩キャンパス)で開催された会員総会で行われた。

校友短信

東大阪市議会議員に横山純児氏、天野高夫氏が当選任期満了に伴う東大阪市議会議員選挙は10月2日に投票され、現職の横山純児、天野高夫の両氏が再選を果たした。

横山純児氏(よこやま・じゅんじ)昭50学経)は、無所属現で当選7回目。58歳。天野高夫氏(あまの・たかお)昭43学経)は、無所属現

で当選3回目。65歳。

大阪府産業功労者表彰を寺田正晴氏、田淵宏政氏が受賞。平成23年度憲法記念日知事表彰、大阪府産業功労者表彰で、寺田正晴氏(てらだ・まさはる)昭39一高・43学工金、大吉寺田鯉節商店代表)と田淵宏政氏(たぶち・ひろまさ)昭45一高・50学経、タブチ代表取締役社長)が、それぞれ商工関係で表彰を受けた。なお、表彰式は5月9日に行われた。



会亡催し

掲載は、組織名、開催日時、場所
(会費、連絡先・電話番号)の順。

【本部関係】

平成24年校友会新年互礼会 平成24年1月14日(土)午後6時
大阪新阪急ホテル
第11回常議員会 2月21日(火)午後6時半 校友会会議室
第98回定時代議員会 3月24日(土)午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館

【地域支部】

藤井寺支部総会 12月3日(土)午後4時 こもだ(技研設計・本間敏司=06-6533-5145)
神戸平成倶楽部冬の懇親会 12月3日(土)午後4時 神戸東急イン(3,500円。東光商会FAX=078-453-2171、ku1886@nifty.com)
九州地区支部連合会役員研修会 24年1月21日(土)午後2時 福岡・平和楼天神本店(花田正利=092-935-3108)
岡山支部第55回新年会 1月21日(土)午後6時 アークホテル岡山(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
滋賀支部総会 1月22日(日)時間未定 ホテルポストンプラザ草津(笹井清充=077-552-3229)
猪名川支部総会 1月22日(日)時間・場所未定(南隆志=072-768-0853)
神戸支部新年互礼会 1月28日(土)午後4時 神戸東急イン(8千円。東光商会FAX=078-453-2171、ku1886@nifty.com)
東住吉支部総会 2月4日(土)午後6時 楓林閣・阿倍野店(村

上靖=090-8527-6725)

千葉支部新春総会 2月4日(土)午後4時半 JR市川駅北口・SUN CITY(アイズ・オブ・マインド・青山誠=03-3662-7710)
東京支部新年総会 2月18日(土)時間未定 関西大学東京センター(パソナ監査役・堺精一=03-6734-1015)
神奈川支部新春総会 2月26日(日)時間・場所未定(ダイケイ=050-1063-9660)
南勢支部総会 3月4日(日)午前11時半 伊勢シティホテル(時田耕路=0598-26-7209)

【職域会ほか団体】

関西スポーツサミット 12月2日(金)午後4時半 大阪新阪急ホテル(北川俊治=072-201-1678)
陸上競技部創設90周年記念祝賀会 12月11日(日)12時半 ヴィアール大阪
公認会計士試験合格者祝賀会 12月17日(土)午後6時半 大阪新阪急ホテル(三原公認会計士事務所・三原秀章=06-6535-1250)
中国文学科創設60周年記念の集い 12月23日(金・祝)午後2時 千里山キャンパス・第1学舎
サッカー部創部90周年記念式典 1月29日(日)午後2時 100周年記念会館
体育OB会総会 3月10日(土)午後2時 千里山キャンパス・BIGホール100(北川俊治=072-201-1678)

お悔み申し上げます

(敬称略)

溝上満好(みぞかみ・みつよし)昭25高2普・29学法、溝上法律特許事務所所長・弁理士)平成22年10月19日死去。88歳。茨木市。
滝川真吾(うずかわ・しんご)昭54学工応・56M工、サクラクレパス東京特販)12月16日死去。55歳。習志野市。
吉田利一(よしだ・としかず)昭16専1商)12月23日死去。90歳。東大阪市。
小西数雄(こにし・かずお)昭18専2経)平成23年3月26日死去。89歳。豊中市。
白井啓一(しらい・ひろかず)昭44一高・48学社、米穀店自営)3月30日死去。60歳。東大阪市。
入江末廣(いりえ・すえひろ)昭27学経、枚岡金属工業代表取締役)4月30日死去。81歳。東大阪市。
岡本直正(おかもと・なおまさ)昭11二商・14専2英)6月17日死去。93歳。堺市。
柴岡洋平(しばおか・ようへい)平18学商)8月1日死去。29歳。大阪府熊取町。
藤原豊久(ふじわら・とよひさ)昭27学法、藤原鍼灸整骨院院長)8月6日死去。84歳。倉敷市。
村上昇(むらかみ・のぼる)昭29学経、エービーシーサービス相談役)8月7日死去。80歳。浅口市。
杉田利雄(すぎた・としお)旧姓谷坂、昭24専2商、不動産鑑定士・杉田不動産鑑定所所長)8月8日死去。93歳。奈良市。
斉藤克己(さいとう・かつみ)昭42学商、元健康デリカ常務取締役営業統括部長、校友会代議員、元愛知支部役員)8月11日死去。67歳。いちき串木野市。
柳生恒夫(やぎゅう・つねお)昭17専2商)9月1日死去。93歳。芦屋市。
比嘉康雄(ひが・やすお)昭38学商、公認会計士・税理士法人ティエムエス代表者)9月1日死去。70歳。浦添市。
三宅啓正(みやけ・ひろまさ)昭31短大1、行政書士・三宅綜合事務所、元校友会代議員)9月7日死去。75歳。川西市。
石原 勲(いしはら・いさお)昭38学工機、名誉教授・元システム理工学部教授、専門は熱工学。元校友会代議員)9月8日死去。70歳。吹田市。
角田恵次(すみた・けいじ)昭30学経、吹田支部常任幹事、校友会代議員)9月16日死去。80歳。吹田市。
大野吉郎(おおの・きちろう)昭26一高・30学商)9月29日死去。79歳。大阪市。
中村厚史(なかむら・あつし)平9学法)10月11日死去。39歳。周南市。



毎日

スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、
確かな技術の中から
最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。
お届けするのは、印刷ソリューション。
そのために、情報も対応も、より速く的確に。
いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ!
私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

東洋紙業株式会社

大阪本社：〒556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社：〒140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

関西大学出版部 刊行図書案内 (価格税込)



街道をあるく
大和の美と風土
高橋隆博 著 2205円
風の音を訪ね、人びとのささやきを聞く古道巡礼



定点観測
—中国哲学思想界の動向—
河田悌一 著 2100円
中国思想史から現代中国を照射する好著



戦後日本の法文化の探求
—法文化学構築にむけて—
角田猛之 著 3150円
戦後日本の法文化の主要学説と宗教と法文化



憲法的責任追及制論 II
吉田栄司 著 5040円
憲法学界に新風を吹込む「憲法的責任追及制論II」



中国文学史新著
(増訂本)上巻
井上泰山・林 雅清 共訳 5985円
人間性の発展を基軸とした画期的中国文学史



ドイツの社会経済的産業基盤
大塚 忠 著 4200円
現代ドイツの人材育成、労働組織、報酬制度



現代の社会経済システム
—社会システム論と制度論—
竹下公視 著 3675円
現代の経済社会を全体から捉える視点を提示



17世紀フランス文法家証言集 II
伊藤誠宏 著 3150円
ヴォジュラ、ヌウベル ルマルクの文法家証言集



関西大学東西学術研究所 訳注シリーズ12-2
参天台五臺山記 下
藤善眞澄 訳注 5565円
中国の聖地を巡礼した入宋僧成尋の旅日記(下)



アジアにおける経済・法・文化の展開と交流3
アジアが結ぶ東西世界
新谷英治 他共編 5985円
東西文化交流史上のアジアの役割を問い直す



笑いの力
～笑って生き生き～
井上 宏 著 1470円
生きる活力としての「笑いの力」再発見



拒絶の投票
—21世紀フランス選挙政治の光景—
土倉莞爾 著 1995円
選挙の国フランスの21世紀の光景。大統領選挙など



死刑選択基準の研究
永田憲史 著 2940円
永山事件以降の全死刑判決から基準を分析



英米文学と戦争の断層
入子文子 編著 2730円
戦争がもたらす人間精神への影響を考える



中国現代文学論考
萩野脩二 著 3675円
文革中における五七幹部学校を主とする中国文学論



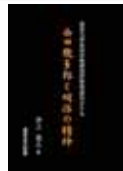
イギリスの小売商業 政策・開発・都市
—地理学からのアプローチ—
伊東 理 著 3150円
イギリス都市の小売商業を地理学から考察



リスクマネジメントの基礎理論と事例
亀井克之 著 1995円
リスクマネジメントの基本的な概念の総論書



関西大学東西学術研究所 研究叢刊38
文化交渉学と言語接触
—中国言語学における周縁からのアプローチ—
内田慶市 著 4200円
周縁アプローチによる中国語学研究の最前線



関西大学東西学術研究所 研究叢刊39
西田幾多郎と明治の精神
井上克人 著 3465円
西田幾多郎の哲学的動機を明治人の倫理観に求める



関西大学経済・政治研究所 研究双書第151冊
アジアにおける経済・法・文化の展開と交流4
中国経済・企業の多元的展開と交流
水野一郎・永井良和 編著 3990円
復旦大学・関西大学フォーラムと中国の多元的研究

ホームページ上からでも刊行図書をご注文できます (下記アドレス参照)

ご注文は、お近くの書店または下記まで (図書目録進呈)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162 <http://www.kansai-u.ac.jp/Syppan/index.php>



結婚



〔株〕ブライダルは
関西大学校友の皆様の
「結婚」を応援します。

34年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、この度賛同を得て「関大コース」を設立致しました。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様、大学教職員の方々はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(会員サポート費50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース

会員サポート費 **50% OFF**

ブライダルコース ¥220,500▶¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000▶¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



株式会社 **ブライダル**

Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
大阪支社 〒530-0001 大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル10F



お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>
<http://www.bridal-vip.net/m/>

上のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)